



Rotary International District2510 2021 July

GOVERNOR'S Monthly Letter

2021 No.13

2020-2021年度 ガバナー月信

Final



ロータリーは機会の扉を開く



Rotary Opens Opportunities

国際ロータリー第2510地区
2020-2021年度 ガバナー 福井 敬悟

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階
TEL/011-207-2510 FAX/011-207-2512
E-MAIL/rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度地区目標

2020年日本のロータリー100周年を祝おう!
~これからの100年に向けて~

- ① IT活用の推進と公共イメージの向上
- ② 会員基盤の強化
- ③ 1クラブ1プロジェクトの推進
- ④ ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- ⑤ クラブ戦略計画の作成に期待

CONTENTS

●ガバナーメッセージ.....1	●妹背牛RC国際ロータリーからの脱会について.....11
●親愛なるガバナーの皆さまへ 2020-21年度RI会長 ホルガー・クナーク.....3	●2021-2022年度ガバナー補佐退任挨拶.....12
●ガバナーならびに地域リーダーの皆さまへ 2020-21年度ロータリー財団管理委員長 K.R.ラビンドラン.....4	●2021-2022年度地区委員長退任挨拶.....16
●「日本のロータリー100周年を祝う会」開催.....5	●新会員のご紹介／訃報.....27
●第48回全国ローターアクト研修会報告.....7	●米山奨学生の紹介.....28
●2021年度国際大会報告.....8	●米山記念奨学会寄付／ロータリー財団寄付.....29
●『現新ガバナー補佐および地区委員長合同引継ぎ会議』開催報告.....10	●第1地域RRFC便り.....30
	●会員数・例会数.....35
	●表紙の解説.....表3



国際ロータリー 第2510地区
2020-2021年度ガバナー

福井 敬悟

(札幌手稲RC)

コロナに負けない絆と行動を!

各クラブ会長・幹事様はじめ会員皆様、ガバナー補佐・地区役員・地区委員会の皆様の絶大なるご協力とパストガバナー先輩諸兄のご指導を得て、2021年6月30日をもってガバナーとしての任務を終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。特に、ガバナーノミネー、エレクト時代からご縁のあった財団委員会、国際奉仕・VTT委員会、社会奉仕委員会、RYLA委員会、RLI委員会、米山記念奨学・学友委員会そしてロータリーアクトの皆様には改めて地区に於けるロータリーの奉仕活動を再認識させていただきました。本来であれば2020-2021年度は、より一層の活動を共に願っていました。

もうすぐガバナー年度スタートという2021年3月、COVID-19感染症拡大により世界は劇的に変わりました。顔を合わせての会合は、2月15日に行われたガバナー補佐・地区チーム研修セミナーおよび懇親会が最初で最後となってしまいました。PETS、地区研修・協議会がDVD・冊子の配布とYouTubeでの配信で行われ、その後の集まりもハイブリッド形式での開催となり、クラブ会長・幹事の皆様と一堂に会することなく年度が終わってしまいました。

しかし、クナークRI会長テーマは「Rotary Opens Opportunities」「ロータリーは機会の扉を開く」、そして私の地区目標・方針「守・破・離の心で初心忘れず、変化を恐れず希望の扉を開きましょう」をもって、地区内70クラブの公式訪問を1年かけて終えることが出来たのは私の一生の宝です。コロナ禍での公式訪問で、各クラブの皆様と直接ロータリー活動についてお話が出来ました事、懇親を深めることが出来ました事、深く感謝申し上げます。4つのテストを説いたハーバート・テラーが「ロータリーは友情を作り、人を作る」と言われました。まさに私にとって「老いて初心忘れず・老而学、則死而不朽」「ロータリーは生き方を学ぶ場所でありたい、生き方に定年はありません」の想いです。

地区大会が無観客のリモートとなり、当初予定していた指導者育成セミナーを行うことが出来ませんでした。セミナーに於いて「守・破・離」の守の所となるロータリーの原点「親睦(人との交わり)、奉仕(利他の精神)」について、私がロータリー入会以来「師」と仰いできました塚原パストガバナーにご講演を頂く予定でしたが、残念ながら叶わず、地区大会ご登録の皆様には記念の冊子を作成しましたので、是非、ご覧いただければと思います。

地区大会は、<https://rid2510.org/2021/https://www.youtube.com/watch?v=sLmP2HMThBA&t=8s>からご覧頂くことが出来ますのでご活用ください。コロナ禍により10月から翌年5月に延期が余儀なくされ、当初よりハイブリッド形式での開催を予定していましたが、緊急事態宣言が発令され急遽無観客、完全オンラインでの開催となりました。まだ入会の浅い会員や家族も楽しめる大会にするという理念の下、メイン会場生中継に加えてサブ会場での解説付き中継も設け、成功裏に終えることが出来ました。実行委員会皆様に深く感謝申し上げます。

本年度地区としての目標は 1.IT活用の推進と公共イメージの向上 2.会員基盤の強化 3.1クラブ1プロジェクトの推進 4.ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化 5.クラブ戦略計画の作成の5つを立てました。ロータリーのビジョン声明「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」の下、目標の1,2,5については地区委員会の協力により、基盤作りが出来たのではと思っています。次年度以降の更なる発展・ご活躍を期待しています。

ロータリーのビジョンは、世界に変化を生み出し、未来を見据えながら進化し、ロータリーを時代に即した持続可能な組織にします。それには、組織を強化し、ロータリーの価値観を守り、これからも長期的に繁栄していくため、未来の方向性を定めなければなりません。ビジョンを具体化するための行動計画として、「戦略計画」があります。2019～2024年の行動目標として、①ロータリーがより大きなインパクトをもたらす②参加者の基盤を広げ③参加者の積極的なかわりを促し④適応力を高めていくと示されています。戦略計画は、

目的達成の重要な手段でもあります。ロータリー活動の原点は、クラブにあることは言うまでもありません。次年度につきましては、地区クラブ奉仕委員会が戦略計画の言葉をビジョン計画として、各クラブに「未来ビジョン委員会設置を呼び掛けて行くよう計画しています。ご協力よろしくお願いいたします。

また、ロータリーのこれからは、「DEIの実践が求められています」。「D.E.I実践:多様性 Diversity 中核的価値観 ロータリーは、あらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します:公平さ Equity 四つのテスト(みんなに公平か)ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つ:開放性 Inclusion ローターアクトを迎え入れた ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいきます。

ロータリーファミリーにつきましては、第2510地区ローターアクトは、地区ローターアクト委員会、各クラブの協力参加登録で第33回全国RAC全国研修会を大会テーマ「RAC ラマチ たごまる」の下、オンラインにはなりましたがホスト地区として成功裏に終わることが出来ました。終えた後の笑顔は、本当に本年度ローターアクト地区ターゲット「大爆笑～the best smile for you」でした。「大爆笑」＝「笑」は現代の様に多様化した人間関係、社会関係において、「笑う門には福来る」「笑いは百薬の長」「笑いに勝る良薬なし」などの言葉があるように「笑い」「笑顔」は「幸運」「心の健康」を呼んでくれます。互いに交わす笑顔は、お互いに存在感を認め、人と関わることによって自分の存在価値が得られ幸福感が得られます。我々は、幸福感を得るためには、人の繋がり、絆を大切にします。

ロータリーは、クラブに入会するというだけではなく「無限の機会への招待」であり、リーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すため世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれていること、私たちのあらゆる活動が、どこかで誰かの為に機会の扉を開いています。

変化を受け入れることの必要性を強調し、この変化の機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなる事をクナークRI会長は述べられていますが、奇しくも2020-2021年度はそれを象徴する年度となりました。

ここでガバナーとして残念なご報告をしなければなりません。一つは、妹背牛ロータリークラブ(1967年1月設立)の国際ロータリーからの脱会です。少人数ながら地元に着した奉仕活動を50年以上にわたり、積極的な活動をされてきただけに非常に残念です。クラブの皆様には、5月地区大会に全員登録、そして親睦ゴルフ大会にもご参加いただきました。7月の公式訪問、3月のクラブ訪問の際の皆様の笑顔が思い出されます。最後までご協力ありがとうございました。妹背牛RC会員皆様におかれましては今後も地域でご活躍くださる事願っています。

もう一つ残念なことは、第11グループ上加ガバナー補佐の突然の悲報です。令夫人から「思えば1月16日ガバナー補佐会議出席の為札幌に赴いていたところの事、最後の最後までロータリーと共にあったのだと思っております。」とお便りを頂きました。改めて、ガバナー補佐として支えていただきましたこと御礼申し上げます、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

こうしてガバナーとしての年度を振り返ってみますと、コロナに翻弄された年度でしたが、何よりも代えがたい多くのものを得ることが出来ました。なんとか健康で、皆様からの多大なるお力添えを頂き、年度を無事終わることが出来ましたこと、本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。

WithコロナからAfterコロナと世界は変化します。ロータリークラブ、ローターアクトのリーダー皆様におかれましては刻々と変化する時代に対して、これからも強いリーダーシップを発揮され、さらなるご活躍を祈念申し上げます。

親愛なるガバナーの皆さまへ



私たちは今、ロータリーにおける一つの重要なチャプターを終えようとしています。このかけがえのない時間に捧げられた皆さまのご尽力に対し、私は感謝の気持ちを十分に伝えることができません。

この困難な1年を通じて私が感じたことを、フランスの哲学者ジャン・ポール・サルトル、そして「ロード・オブ・ザ・リング」に出てくる偉大な魔法使いガンダルフの言葉を引用して伝えたいと思います。この二人の賢者はこうアドバイスしています。今私たちが生きている状況そのものを見るのではなく、その中で見えてくる自分の特別な役割にこそ焦点をあてるのが良いと。

私たちは、まさにそれをやり遂げました。現在、直接に顔を合わせて会合を行うという従来の方法を、画面越しのデジタル形式へと変えていくことを余儀なくされています。旅行を断念された方もいるでしょう。しかし、世界中のロータリアンやローターアクターとつながる機会も増えたかと思えます。また、私たちはポリオ根絶へのコミットメントと信念を持ち続けるとともに、新型コロナウイルスの脅威に立ち向かう方法を模索し、可能な限りの早さでワクチン接種が行われるよう支援を行ってきました。

会員数の大幅な減少が懸念される中での会員数の維持、組織のあらゆるレベルでのコスト効率の向上、環境という新たな重点分野の開始、アフリカでの野生型ポリオウイルス根絶の認定など、多くのことを共に成し遂げました。私たちが好む好まないに関わらず変化は避けられない必然的なものであると、私は2020年国際協議会で皆さまにお話ししましたが、皆さまは、誰もが想像しえなかったほどの機敏さをもって変化に対応してこられました。

コロナ禍が終息してからも、変化の必要性が緩和することはないでしょう。ロータリーの「多様性」という中核的価値観、そして「多様性、公平さ、インクルージョン」の実現に向けて成すべきことは多くあります。私たちの未来は、今まで長い間私たちが見落としてきた、新しいグループの人たちと手を結べるかどうかにかかっています。そのためにも、私たちがロータリーへと導くすべての人が、自分に合ったクラブに入会できるようにしなければなりません。

皆さまには、ロータリーの変革を積極的に推進していただきたいと思います。これは、コロナ禍の際に採用した新しい方法を、これからも活動の一部として生かしていくことを意味します。それは、組織のあらゆる側面を見直し、直面するすべての課題に機会を見出すことでもあります。

ロータリーでは、入会したクラブがすべての活動の場となるのではなく、そのクラブを通じて機会の扉が開かれます。

そして、私たちが行うすべてのことが、どこかの誰かにとって機会の扉を開きます。これは過去に何度もお伝えしたのですが、今ほど強く感じたことはありません。

この素晴らしい機会を分かち合ってください。皆さま全員に、心から感謝いたします。

感謝を込めて

2020-21年度 RI会長 ホルガー・クナーク

ONE ROTARY CENTER

1560 SHERMAN AVENUE

EVANSTON, ILLINOIS 60201-3698 USA

ROTARY.ORG

ガバナーならびに地域リーダーの皆さまへ



年度末を迎えた今、この困難な年度に皆さまが力を合わせて成し遂げられたことに対し、深く感謝いたします。

新型コロナウイルスの脅威によって世界は混乱し、人びとは肉体的かつ経済的にも計り知れない苦難を経験しました。また、多くの会員が苦しみ、そして死に至るといふ非常につらい状況の中で、私たちはこの年度をスタートさせました。

このような状況下では、大きな決断や難しい行動を先送りしたくなるものです。実際に多くの人がそうしました。

しかし、ロータリー財団は飛躍的な発展を遂げました。それは皆さまの積極的なご協力があったからです。

私は、この1年間に行った活動を、宇宙開発史に残るアポロ13号の挑戦に例えたいと思います。仮に、アポロ13号の宇宙飛行士と管制官が宇宙船の悪いところだけに目を向けていたら、すべてが失われていたでしょう。しかし、彼らは「その宇宙船にある良いものは何か」を問いました。

そして、船内でコンテナとガムテープを使って間に合わせの二酸化炭素フィルターを作り、全員が生きのびるための方法を考えたのです。この装置で船内の二酸化炭素を排出したことで、宇宙飛行士は無事に地球に帰ることができました。

私は、野心的なファンドレイジング目標を堅持し、会員の皆さまにご協力をお願いしました。その結果、世界の経済状況を考えると驚異的といえる、4億1,000万ドルの寄付目標額を上回ることができそうです。

しかし、それだけではありません。この1年間、この苦境をしのぐだけでなく、自分たちが有するリソースを吟味して最大限に活用し、以下のことを可能にしました。

- ◎大規模プログラム補助金の開始
- ◎マケレレ大学平和センターの開設
- ◎中東での新たな平和センター設立計画における前進

- ◎ローターアクトのための今後のグローバル補助金に関する重要な基本ルールの設定
- ◎新たな重点分野「環境」の立ち上げに必要な準備の完了
- ◎資金総額が1億3,870
- ◎7,145ドルとなる、1,957件のグローバル補助金の承認(2020年からの40%の増加)
- ◎次年度における旅費を大幅に削減するための対策
- ◎財団の長期的な財務安定性を強化するための方針変更

また、今年度はアフリカにおける野生型ポリオウイルスの根絶が認定され、私たちはポリオプラスの歴史に大きな1ページを刻みました。

これらの大きな前進は、リモートで働く職員の献身的な協力があってこそ成し遂げられたものであることを、私は真摯に受け止めます。

友人の皆さま、私たちは歴史の岐路に立ち、財団を前進させる役割を担っています。一方の道は、よりインクルーシブかつ公平で、母なる自然を尊重した、より良い世界へと私たちを導いてくれるでしょう。もう一方の道を進んだ場合に行き付くところは、私たちがこの1年で経験したような困難な世界、またおそらくは、より厳しい世界となるでしょう。

私たちは正しい道に進まなければなりません。今こそ、この危機を乗り越え、新しいより良い世界をつくるため、リーダーシップを発揮するときです。そして、人びとの記憶に残る行動を確実に実行するときです。

正しき道を選び、明るい未来を築く最初の一步を踏み出していただき、ありがとうございます。

感謝を込めて

2020-21年度ロータリー財団管理委員長
K.R. ラビンドラン

ONE ROTARY CENTER
1560 SHERMAN AVENUE
EVANSTON, ILLINOIS 60201-3698 USA
ROTARY.ORG

「日本のロータリー100周年を祝う会」開催



地区副代表幹事

平川 香織
(札幌手稲RC)

2020-2021年度は、日本のロータリーが誕生して100周年という節目を迎えました。福井敬悟ガバナーは地区テーマとして、

「2020年日本のロータリー100周年を祝おう!~これからの100年に向けて~」を掲げられ、先人たちが100年という年月を経て発展させてきた「日本のロータリー」を振り返り、これからの「日本のロータリー」を考える機会とされ、節目である今こそ改めてロータリーの心、原点に立ち返り、これからの100年に向かうべきであると言われ、常に「100周年記念ピンバッチ」を胸にされていました。

この「100周年記念ピンバッチ」の他にも、日本のロータリー100周年実行委員会は、東京RCとともに「100周年記念ゴング」を作成し各地区に寄贈、日本郵便(株)のご協力のもと「記念切手」を発行など、様々な記念事業を行ってまいりました。

その集大成である「日本のロータリー100周年を祝う会 記念式典・祝賀会」は、当初2020年11月24日ザ・プリンスパークタワー東京で華々しく開催される予定で準備されてきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2021年5月25日に延期され、限定参加者による式典・祝賀会に変更となりました。しかし5月に入ってさらに状況は悪化し、やむなく「対面開催」を見送り、「無観客開催(オンライン開催)」となりました。間近の開催変更は実行委員会にとってどれ程大変だったことでしょうか。

このように紆余曲折あってオンライン開催となった「日本のロータリー100周年を祝う会 記念式典・祝賀会」は、千玄室委員長のもと、当地区の地区大会においてRI会長代理としてお越しいただいた水野功パストガバナーが事務局長を務められ、5月25日13:00よりオンライン配信されました。下記のYouTubeオンライン配信視聴用URLからは是非ご覧ください。

記念式典は、日本のロータリー100周年実行委員会・記念事業委員会が制作した日本のロータリー100周年記念ビデオ「日本のロータリー100年の歩み・そして未来へ」の上映からスタートいたしました。記念ビデオは、①日本のロータリークラブ誕生~「創世期」1920~1940年 ②国債ロータリーへの復帰~日本のロータリー「成長期」 ③人道的支援の発展~日本のロータリー「発展期」 ④現在、そして未来へ という20分程の四部構成で、日本のロータリーの歴史が分かりやすくまとめられた素晴らしいものでした。各クラブの新会員オリエンテーションに是非活用してもらいたいくらいです。

点鐘は、東京RC・濱口道雄会長と、第2580地区・野生司義光ガバナーと、第2650地区・福原有一ガバナーの3名による「100年の鐘」で行われました。「君が代」と「奉仕の理想」は、多くのロータリーソングを手掛けた歌手・藤山一郎(東京西RC)のご息女・市川たい子様によるピアノ演奏で行われました。のちに、司会進行の水野事務局長より田中作次元RI会長をはじめとするご来賓の紹介がなされ、辰野克彦RI理事より開会の挨拶、ホルガー・クナークRI会長からの祝辞ビデオが流され、田中作次元RI会長と濱口道雄東京RC会長よりご祝辞がありました。





基調講演は、日本のロータリー100周年を祝う会委員長の千玄室氏による「果たしてロータリーは?過去・現在・未来」と題し、30分間の熱いお話がなされました。過去から現在の自分の価値観を見出し、天から与えられた一つの職業を通して誰がために尽くす、それを考えて実践していくことが未来への歩みではないかと問われ、次の100年に向けて私たちの素晴らしいレガシーを残そうと締められました。続いて、ファシリテーター・齋藤直美元RI理事と、3名の元現RI理事によるパネルディスカッションが行われ、日本のロータリーの100年を振り返り、これからの日本のロータリーについて、それぞれの視点から発表がなされました。

休憩後、祝舞として、狂言大蔵流の名跡14世「茂山千五郎」氏による「三番三(さんばそう)」が披露されました。「三番三」は、「能にして能に非ず」と言われる神事のため、演者は精進潔斎で臨むのが習わしとなっている神聖なもので、式典にふさわしく、拝見していて身が引き締まる舞でした。

黒田正宏元RI理事の閉会挨拶、点鐘で三時間半の式典は幕を閉じました。

多くのロータリアンが式典・祝賀会に参加を予定され楽しみにされていたと存じます。どうぞオンライン配信をご覧いただき、皆様の素晴らしいお話、実行委員会の熱い想いの一端に触れていただき、これからの日本のロータリーを考える機会にさせていただきたいと存じ上げます。



YouTube オンライン配信ご視聴用 URL

<https://youtu.be/n0S389tUijw>

国際ロータリー第2510地区 ローターアクト

第48回 全国ローターアクト 研修会 報告 in 2020~2021年度 6/19

大会テーマ:「愛の追跡者」(ロータリーファミリーの相互愛を追い求め続ける)

【ローターアクトの地区大会と大会テーマ】

第2510地区ローターアクトは、第48回(48年目)となる大会を開催致しました。地区ローターアクトが存在する限り、永続的に歴史的に続く大会です。「第2510地区 地区大会」をご参考とさせて頂き、ローターアクトらしさが大いに詰まった行事です。規模としては、1年間の中で一番大きな行事であり、地区ローターアクト代表を中心とした地区役員、各クラブ会長を中心としたローターアクトクラブが、より丸となる行事となります。より重要かつ大切な行事であることは間違えありません。地区大会は「地区活動報告・クラブ活動報告・表彰式・卒業式・地区代表継承(地区役員紹介)・プログラム」が大きな内容となり、1年間の総括とも言えます。本大会のテーマは「愛の追跡者」です。自分たちは「国際奉仕」「社会奉仕」「職業奉仕」「クラブ奉仕」等、様々な奉仕活動を行う団体です。奉仕活動は「人と人」「仲間と仲間」が手を取り合って行う為、「親睦」がとても大切となります。しかし、「奉仕活動」「親睦」どちらを向上させるにも欠かせないことがあります。それは「相互愛」です。互いに愛が無ければ意義や意味のある「奉仕」「親睦」を行うことができません。本大会では、「相互愛を深める事」「相互愛に気づく事」「仲間と自分の偉大さを理解する事」に焦点を当てた内容となりました。「愛を追跡する」ことは「愛を探求する」ことでもあり、お互いがお互いを理解し認め合う大切さも含まれております。一人一人が今以上に、ロータリーファミリーと関わる全ての人や物事と「強い愛で結ばれることを願う」テーマとさせて頂きました。

【今年度の開催方法】

新型コロナウイルス感染拡大防止(ロータリーファミリーの健康と安全を第一)の為、ご来賓と運営メンバーのみが会場に集まる形で開催致しました。全国研修会に続き、小規模ハイブリット開催で、大会の準備~当日の開催に苦勞を重ねましたが、一人一人の仲間が「地区大会の大切さ」「テーマに基づいた運営」に最大限の力を発揮する事ができました。オンラインを前向きに、そして強い発信源となる事を念頭に、第2510地区のローターアクトとして「大きな達成感と仲間の大切さ」を感じる事ができる開催となりました。



【プログラム】

地区の年間活動報告では、「全国研修会」「地区協議会」等の1年間の地区行事を報告し、クラブ活動報告は、各会長が1年間のクラブ活動を報告しました。表彰式では、最優秀賞に「前年度地区RA幹事(全国代表者会議議長)」の浅野さん、超大爆笑(賞)には、今年度地区RA代表の城地さんが選ばれ、合計8名の仲間が表彰されました。メインプログラムでは、代表として長谷川さんが「愛の追跡者」題する基調講演を行い、「相互愛」を中心に愛を大いに感じられる内容でした。「自分を愛することが相互愛を深める入口」だと熱い魂が込められていました。グループワークは金野実行委員長がオンラインの中で「愛の部屋(グループ)」をつくり、「人生で一番愛を感じた事」を各チームで共有することができました。地区代表継承は2人の「熱い愛」をご参加の皆さんにお見せでき、承認をもらいました。懇親会は参加して下さった皆様へ愛のある景品を抽選会として贈呈しました。ending finaleは、地区代表を中心に大感動に包まれ、全国各地の皆様のご協力もあり、大きな愛を感じながらの閉会となりました。本大会のプログラムは全て「愛」が中心となり、「愛」とは何か、「ロータリー活動の愛」とは何かを1人1人が感じられました。浅野知香さんは花束を握りしめながら、地区幹事として地区代表の長谷川さんを支え、地区役員の皆をまとめて、ホットしたのではないのでしょうか!

【2020~2021年度 地区代表挨拶】

第2510地区2020~2021年度 ローターアクト代表(赤平RAC)の長谷川大介と申します。本大会はロータリーファミリー皆様のお借りして開催する事ができました。2020~2021年度福井ガバナ、赤平(ホストクラブ提唱)ロータリークラブ早坂会長に会場へ足をお運び頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。300人近いご登録を頂き、全国友好地区26地区の仲間からもご参加、ご登録を頂きました。感動と達成感「大切な仲間との相互愛」により生まれました。この絆が永続的となれるよう活動します。「愛」は無数の可能性があります。さらに「愛」を追跡します。本当にありがとうございます。

【第48回地区大会 実行委員長挨拶】

第2510地区第48回ローターアクト地区大会実行委員長(赤平RAC)金野凌と申します。今年度は当地区ローターアクトの歴史上、初めてのオンライン開催となりました。皆様へ「直接会えない」となった現実を、受入れたくないと感じる事もございました。しかし、「オンラインの中で最高の愛を深めよう」と力を入れる事ができました。この力は、準備を歩んだ仲間は無条件ですが、ご協力、ご登録して頂いた全てのロータリークラブ様、ローターアクトクラブ様あつてのもです。本当にありがとうございました。





2021年度国際大会報告

ロータリー国際大会について

2018-19年度地区幹事 福山 眞司(札幌RC)



6月12日に開幕したロータリー国際大会に参加いたしました。メニューは盛りだくさんで、本会議と分科会、事前で開催されたローターアクトの会と青少年の会に加えて、会長・会長エレクトなどの方々とインフォーマルな形で話し合う事ができる”Meet & Greet”, 更にはクッキングクラス、ヨガ、バーチャルランニング、ダンスセッションなども準備されており、国際大会に相応しい華やかなものとなりました。オープニングではイリノイ州エバンストンのロータリーHQに再現された1896年ロータリー発祥当時のミーティングルームが紹介されました。セッションとセッションの間にはミュージシャンによるパフォーマンスが織り込まれており、視聴者が飽きることがないように工夫されていました。



ホルガークナークRI会長のスピーチはとてもカジュアルでフレンドリーな雰囲気の中で行われました。会長のとても小さくて丸いメガネが印象的でした。

ローターアクトとの共労の強化をはじめ、若い人との交流の機会を増やし参加を促したい。今はコロナ禍により仲間とドーナツを食べ、コーヒーを飲みながら話し合ったり、ハグすることはしばらくお預けではあるけれど、テクノロジーの進歩により、会員同士がお互いに「顔を合わせて」話し合い、意思の疎通に努めることは出来るはず。自分たちの活動についてアイデアを出し合い、ディスカッションする努力は止めてはならない。今は全てに人にとって苦しい時期ではあるが、私たちはこの状況を乗り越えるために変化する。そして変化する事には必ず新しいopportunityが誕生する。

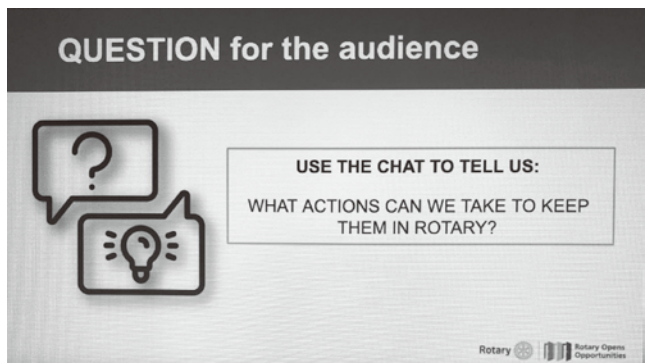
という、前向きで力強いスピーチをいただきました。

またWHOのテドロス事務局長がスピーチを寄せてくださいました。ロータリーのポリオ撲滅への努力に対する感謝の言葉をいただきました。

全世界でポリオの撲滅まであと一步のところまで来ている。ロータリーの「最後までやり遂げよう」とする姿勢に敬意を表す。ポリオを一掃するためのこれまでの手法が今度はコロナを撲滅するために必ず役に立つはずである。WHOとロータリーがポリオを「過去のもの」とするために手と手を取り合って協力して来たように、私たちはコロナを同じように「過去のもの」にすることができると信じている。

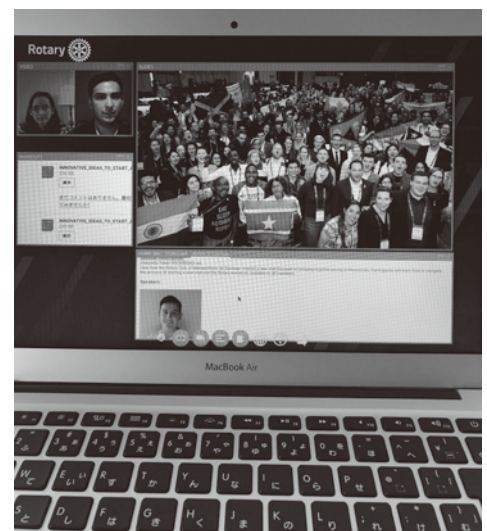
という、素晴らしいお話でした。

6月13日からは分科会も開催されました。私は「ロータリーの為の革新的なアイデア」というセッションに参加しました。一方的なプレゼンテーションではなく、視聴者のdiscussionへの参加を促すために、随所でアンケートへの回答を求められたり、チャットの形で参加者が意見を述べたり質問をすることができるように工夫されていました。私も投稿してみましたが、私の名前が漢字で表示されることに驚きました。ディスカッションの内容は新たなロータリークラブを産むためには伝統に則った画一的な同じ性格のクラブを多数作るのではなく、地域の特性、もしくは世代の特性とライフスタイルに合致させたクラブをフレキシブルに作って行くことを考えるべきである。会費の徴収方法や例会の在り方も柔軟性をもって決められるようにした方が良いのではないかと。と言った提言がなされていました。そして何よりも会員同士が「個人の集まり」ではなく「チームの一員」である、と意識できるような組織を作っていくことが必要である、と結論していました。



時差の関係もあり、全てのセッションに参加することは到底できませんでしたが、ロータリーが世界をよくするために自分に何ができるかを真剣に考えている人たちの集まりであること、そして世界に誇り得るグローバルネットワークを持った組織であることを再認識いたしました。

来年度の国際大会はテキサス州ヒューストンでの開催が予定されています。盛大に開催されるようになることを祈っています。



国際ロータリー第2510地区 2020-2021年度

『現新ガバナー補佐および地区委員長 合同引継ぎ会議』開催報告



地区代表幹事 小山 秀昭 (手稲RC)

次の要領にて標記の会議を開催いたしました。

日時 2021年6月20日(日) 13時より ハイブリット方式にて開催

会場 札幌パークホテル

新型コロナウイルス蔓延防止期間中のなか、一部リアル参加とZoom参加のハイブリット会議方式で行いました。

司会進行は地区代表幹事 小山秀昭が行いました。

13:00、最初に福井敬悟ガバナーより開会の挨拶がありました。

続いて、ガバナー補佐引継ぎ会議

2020-2021年度及び2021-2022年度のガバナー補佐の皆様へZoomの引継ぎ会議の流れについて説明があり、第1グループから第12グループまでグループ毎に、今年度ガバナー補佐より活動報告、次年度ガバナー補佐より活動計画の発表がなされました。

また、今年度ガバナー補佐のうち2名がご欠席でしたが、事前に頂いていた今年度活動報告を石川地区幹事が代読いたしました。

14:10、今年度各ガバナー補佐の活動報告・次年度各ガバナー補佐の活動計画の発表を終了し、10分間の休憩といたしました。

14:20、地区委員長引継ぎ会議

司会進行を平川香織地区副代表幹事が行いました。

2020-2021年度及び2021-2022年度の各地区委員長の皆様へ、ガバナー補佐会議同様に、Zoomの引継ぎ会議の流れについて説明があり、戦略計画委員会よりスタートし地区28委員会を順番に委員会毎、今年度各委員会の活動報告、次年度各委員会の活動計画の発表がそれぞれの委員長からなされました。なお、地区29委員会のうち19委員会の委員長は2021-2022年度も重任となりました。

16:40、ガバナー事務所・ガバナーエレクト事務所からのお知らせ事項はそれぞれ、現地区代表幹事・次年度地区代表幹事からお話がありました。

質疑応答ののち、大日向豊吉ガバナーエレクトより閉会のご挨拶がありました。

17:00、すべての現新引継が無事に終了いたしました。



妹背牛RC 国際ロータリーからの脱会について

地区代表幹事 小山 秀昭(手稲RC)

妹背牛RCは、この2021年6月30日(水曜日)の最終例会をもって、国際ロータリーを脱会いたしました。妹背牛RCは1967年2月6日国際ロータリーより承認され、深川RCがスポンサークラブとなり、初代会長 山田昇一氏以下23名にて発足いたしました。

発足以来、半世紀以上 54年間にわたり、会員相互の交流・親睦、地域の奉仕活動を地道に続けてまいりました。特に社会奉仕活動では町民憲章文記念碑の建立・町民会館・学校への図書寄贈や、創立40周年記念事業として実施し今年10回目になる妹背牛ロータリー杯ジュニアカーリング大会は地元児童を中心に南富良野、名寄等をはじめ、道内各地より参加を得て、青少年育成に努めるなど広く地域にロータリークラブの存在感を高めました。

しかしながら、近年の過疎化に伴う後継者の不在、高齢化現象等により会員の増えない現状の中、会員増強に懸命に努めてまいりましたが、状況は厳しく、近年には会員数7名になり、今後のクラブ運営の見通しが困難視されるようになりました。

このために、現クラブ会長・幹事、第1グループガバナー補佐、全クラブ会員が全力で会員増強により一層の努力をいたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響も追い打ちをかけ、地元企業の動向、高齢化現象を考慮すると新たな会員入会も見込まれず、苦渋の選択として、この度、国際ロータリーからの脱会の道を選択せざるを得なくなった次第であります。

長年、当地区でクラブ活動を実践されました歴代のクラブ役員・会員の皆様のご尽力・ご精励に心より敬意を表しますとともに、後日の再起を祈念申し上げて、ご報告とさせていただきます。

2021-2022年度 ガバナー補佐退任挨拶



第1グループガバナー補佐
澁谷 賢治
(深川RC)

新たな手法と価値観の共有を。

2020-2021年度RI第2510地区、福井敬悟ガバナーにお仕えさせていただき、この一年間は第1グループのガバナー補佐として多くの貴重な経験と残念な思いが交錯する年度でありました。この1年、全てのロータリアンの皆様がひとりひとりの心にロータリーの灯をともしながら感染の解決を待ち望み、それでも1歩でも1歩でも前に進みたいと願い続けてきた想い出深い年でもあります。

そのような中、会議や式典などで素晴らしいITの技術を駆使され、会員の交流や心の繋がりや場をウェブやズームにて体験させていただいたガバナー事務所の優秀なスタッフの皆様には、心からの敬意と拍手を贈らせていただきます。これからも福井ガバナーが提唱されました守・破・離の精神が全てのクラブ会員の皆様の心に大きな勇気と変化をもたらします事をご期待致します。そしてこれからもロータリアン同志は心の絆と伝統の継承という「たすき」を互いに共有し続ける事が何より大切な事でありましょう。更に未来に向けては、新たな価値観や手法を持ってロータリーもコンプライアンスだけではなくイノベーションも恐れずに革新、一新、刷新という戦略を打ち立てる事も肝心であろうと考えました。

この一年間、地区の皆様をはじめ、第1グループ内の皆様より温かいご理解と厳しいご指導も頂戴致しました事に心から感謝申し上げます。大変お世話になりました。



第2グループガバナー補佐
宗方 裕之
(芦別RC)

人と出会うことの大切さを改めて感じた1年。

福井ガバナーの心温まるご指導にあらためて感謝申し上げます。ガバナー公式訪問は7月に砂川RC・滝川RC・芦別RC、10月に赤平RCを無事終了する事が出来ましたが、その後は新型コロナウイルス感染症の影響で例会訪問、会長・幹事会も予定通り消化できずに終わってしまい自身の指導力不足を痛感しました。また赤平RC・砂川RCの記念式典も当初の予定を縮小して開催されました。準備をしてこられた皆様のお気持ちをお察しいたします。また下半期はグループ内の皆様とお会いする機会が極端に減ってしまいました。直接お会いしてお元気な顔を拝見しながらの会話、それがたわいもないものでもとても嬉しい気持ちになれたのは私だけではなかったのではないのでしょうか？今までにはなかった制約を受けてみて改めて例会の大切さ、仲間の有難さを感じさせていただきました。1年間を振り返ってみると反省ばかりが脳裏をかすめますが、この貴重な経験を今後のロータリー活動に活かしていけたらと思います。最後に福井ガバナーをはじめ地区役員、地区幹事、事務局の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。



第3グループガバナー補佐
後藤 一昭
(江別西RC)

皆様に感謝。

新型コロナウイルス感染拡大防止のなかのPETS、地区研修・協議会、IM、地区大会の実施、各委員会、クラブ例会開催方法の工夫等、第2510地区内に於いて今までにない運営方法が出来た年度でもありました。福井ガバナーと地区幹事の皆様又各地区委員会の皆様に大変感謝いたします。

東京オリンピック開催、日本のロータリー100年と思い出多い、記念に残る年度になるはずでしたが、コロナ禍で違った意味で歴史に残る年度となったようです。

ロータリアン皆様の健康とご多幸をお祈りいたします。ありがとうございました。



第4グループガバナー補佐
青木 貞康
(札幌はまなすRC)

どんな時でも活動はできる。

2020-2021年度、第4グループのガバナー補佐を務めさせていただきました。

通常であれば年度半ばでガバナー公式訪問が終了し、ガバナーの方針のもと活動に邁進するつもりでした。しかしながら新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しないということもあり、はたして最後まで終えることができるのかと不安を募らせていました。ガバナーが第4グループの札幌手稲RCより出ているため最後のクラブ公式訪問はわかっていたのですが、終了がなんと年度最後の例会の6月25日となりました。しかしガバナー補佐として全クラブ公式訪問に参加でき、最低限の役目だけは終えることができほっとしております。

今年度、福井ガバナーも諸会合、地区大会もZoomでの開催となり一同を介しての交流ができなかったことを残念に思っておられると察します。しかし、そのような状況でも福井ガバナーの積極的Zoom配信の取り組みなど困難な状況でも行動はできるということを示してくれました。このことは各クラブに与えた功績は多大であると思います。各クラブ訪問させていただいても新型コロナウイルス感染症対策をしながらそれぞれのクラブが工夫しながら積極的活動をしていることを感じることができました。

また、第4グループとしてIMを開催することができず申し訳ありませんでした。

本年度ガバナー補佐として各クラブ訪問させていただくという貴重な体験をすることができ本当に感謝申し上げます。最後にガバナーを支えながら本当に一番忙しかった平川会長、石川幹事、小山地区代表幹事をはじめ札幌手稲RCの皆様お疲れさまでした。



第5グループガバナー補佐
山田 廣
(札幌真駒内RC)

幸せな1年。

この1年間、ロータリー活動の本質はいったい何なのかを考えていられたことが幸せでした。ガバナー公式訪問では各クラブから様々な活動の報告を受けましたが、皆さんとても生き生きとおられました。このような活動の源泉となる情熱はどこから来るものなのか。答えがなかなか見つからないまま任期が終了します。

コロナ禍により、補佐とクラブが意見を交わして共同で企画・実施するIMが中止となりました。さらに、福井ガバナーやガバナー補佐の皆さんとともにお酒をともにして顔を合わせてロータリーを語る機会も持てませんでした。本当に残念でしたが、福井ガバナーご自身が一番忸怩たる思いでおられることとお察し申し上げます。事務局においても本当に心労が重なった1年であったと思います。ご苦勞様でした。

ガバナー補佐という任務を仰せつかっていなければロータリーを考える時間はなかなか持てず、この意味で幸せな1年でした。静かに見守っていただいた福井ガバナーには深く感謝申し上げます。

答えは、クラブからお聞きした様々な「活動報告」の中にきっと隠されているはずです。



第6グループガバナー補佐
東山 洋徹
(岩内RC)

皆様の温かい友情に感謝。

2020-2021年度、RI第2510地区、福井ガバナーのもと、第6グループのガバナー補佐を拝命し、ここに退任の時を迎えるに至りました。一年を振り返りますとコロナ禍の影響で、感染症拡大防止にばかり追われ、計画した活動のいくつかは未消化のまま終わったものもあり、仕事を100%やりきったという感じからは程遠く。なんとか無事に凌ぎきったという気持ちです。反面、若い会員の皆さんに教えていただきながら急遽オンライン会議や例会等へ参加するなど、大変勉強になった一年でもありました。各クラブへの訪問に際しては、常にマスク越しでの会話を強いられ、大変もどかしいことばかりではありましたが、コロナ禍の大変環境の悪い中において一年間にわたりご指導、ご支援を下された福井ガバナーをはじめ地区役員の皆様、グループ内のメンバーの皆様の温かい厚意と友情に深く感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



第7グループガバナー補佐
橘 功記
(北広島RC)

大変ご面倒をおかけしました!

2020-2021年度第7グループのガバナー補佐をさせていただきました、北広島RCの橘功記(たちばなあつり)です。ガバナー補佐は本来、ガバナーを補佐する立場なのですが、私の場合には福井ガバナーを始めガバナー事務所の事務局、地区幹事の皆様に多大な補佐をしていただいた気がします。このような感覚は私だけにとどまらず、多くのガバナー補佐が感じられているところかもしれませんが、私の場合には特にその感が強かったような気がします(この原稿もメ切を過ぎて催促されたものです)。また、担当の第7グループの会長・幹事の皆様には慣れないZoomでの会長・幹事会の開催にご協力いただき、これも大変感謝すべきところです。結局、私のガバナー補佐の1年は福井ガバナーやガバナー事務所、地区幹事の皆様、グループの会長幹事の皆様に感謝する1年となりました。皆様、本当にありがとうございました。



第8グループガバナー補佐
山形 弘
(えりもRC)

皆様の温かい友情に感謝。

2020-21年度RI第2510地区、福井敬悟ガバナーのもと、第8グループ補佐を拝命し、ここに退任の時をむかえるに至りました。言うまでもなく、COVID-19パンデミックは、私たちの日常の光景を一変させました。オンラインでは多くの神経を使い、疲れやストレスを感じていらっしゃる方々も多いと思います。私も残念ながら苦手なイメージしかありませんでしたのでソーシャルメディアの親睦、交流に多くのジレンマを感じておりました。振り返れば、11月から第3・4波と続き、不透明な状況の中で、現実を捉えて辛抱強くツールに参加していけばよかったと思います。9月・11月と、えりもRCの公式訪問が延期になり何とか3月に対応のご配慮をいただきました。漁師たちの苦難の緑化事業、劇場映画「北の流氷」クランクインをご紹介できて、スローガンが一助となっているように思います。グループ内訪問ではコロナ禍に向き合い、少しでも多くの皆様の言葉に触れ分かち合い、自分自身を見つめ直すきっかけとなりました。意義ある貴重な体験をさせていただきました。一年間、各クラブの会長、幹事、会員の皆様、温かいご支援ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。



第9グループガバナー補佐
加藤 栄吉
(室蘭北RC)

コロナ禍に翻弄された一年、収束後の明るい未来を信じて。

この一年福井ガバナーはじめ地区事務局、地区委員、各クラブ会長・幹事の皆さんコロナ禍に振り廻されました。何より先が読めない、予定が狂うのが一番の苦勞です。そんな状況下の中でも何とか乗り越えてきた関係者の皆さんに敬意を表したいと思います。

計画していた会長・幹事会、各クラブ訪問も予定の半分位しか実行できませんでした。9月ガバナー公式訪問時は運よく小康状態で、グループ全6クラブを廻り活発な意見交換を交わし、うち二つは夜間例会で親睦、懇親を深めることができました。

2月のIMですが主催の室蘭北RC、実行委員会を立ち上げ総力を挙げ準備に取り組んできました。登録締め切り12月中旬再度の感染が拡がり中止の決断をいたしました。計8回実行委員会が開かれ、準備万端GOサインができればいつでもできる段階までできており残念至極です。中止となりましたが今後のため実行委員会の活動を記録に残しておこうと話になって、詳細な議事録作成しました。

“禍福は糾える縄の如し”で禍福は交互にやってきます。私たち大役を仰せつかった年が良くない年に当たったということです。禍の次は福、幸がやってきます。めげずに頑張りましょう。



第10グループガバナー補佐
坂下 賢二
(函館セントラルRC)

ガバナー補佐退任挨拶

2019年10月に、ガバナー補佐の指名を頂き、不安のなかでの受諾でありました。自分の所属クラブならば、いざ知らず第10グループ各クラブの実態も分からずまさに手探りの状態での出発でありました。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、下半期は休会するクラブが多くクラブ訪問も出来ずまったくと言って良いほど活動することが出来ませんでした。

特に、第11グループとの共同開催を4月に予定しておりましたIMにつきましては、準備等を進めておりましたが、各クラブのご意見を尊重しやむを得ず中止となってしまった事は非常に残念でなりません。

今、この時を振り返りみますとグループ各会長、幹事、会員皆様の友情の中で大過なく過ごさせて頂きました。

また、福井ガバナーのご指導のもと、一年間活動出来た事も私自身大変進歩であり公式訪問ではグループ内での情報共有の有用性を感じ取る事が出来ました。

ガバナー補佐として今回の機会を通し、種々の方々からの影響を受けロータリアンとして若干の成長が出来たのではとっております。

福井ガバナー、地区幹事の皆様、ガバナー事務局の皆様、そして第10グループ各クラブの会長、幹事、会員の皆様には心より感謝申し上げます。

一年間大変お世話になりました。



第11グループガバナー補佐
成田 豊
(函館北RC)

2020-2021 第11グループガバナー補佐退任挨拶

RIテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」福井敬悟ガバナーの「守・破・離」のもと、2020-2021年度を開始し、上半期は上加淳悦ガバナー補佐の（親睦の心をわすれずに楽しいロータリー活動を）テーマに出発いたしました。1月突然の逝去に驚き、下半期第11グループ補佐に就任いたしました。

当第11グループは、昨年来の新型コロナウイルス感染症の影響で、会長・幹事会、IMと下半期の予定が全て中止になりました。ガバナー補佐としての任期も中途半端な形で終了致しました。今後は、第11グループそして所属クラブの発展に努力をしまいる所存です。半年間ではありますが、福井ガバナー、地区幹事の皆様、そして各ガバナー補佐の皆様に感謝を申し上げ退任挨拶といたします。



第12グループガバナー補佐
山本 正幸
(苫小牧RC)

“皆様に感謝”

福井ガバナーのもと第2510地区第12グループガバナー補佐を拝命し、コロナ禍にあって皆様の様々な工夫等のアドバイスをいただき、ガバナー公式訪問から始まり、インターシティーミーティングまで、“ウイズコロナ”を実践し、初期の目的は達成出来たものと思います。

第12グループ4クラブの皆様の深いご理解をいただき、登録料のほとんどを胆振東部3町及び苫小牧市医師会へ支援金として贈呈させていただき、そのIM事業報告を動画配信（ユーチューブ）いたしました。

何も出来ないガバナー補佐ではありましたが、若い人を中心に多くのアドバイスをいただき無事大役をおえる事ができました。福井ガバナーをはじめ、ガバナー事務所スタッフ、ホストクラブの札幌手稲RCの皆様、1年間お世話様でした。



2021-2022年度 地区委員長退任挨拶



委員長

武部 實
(札幌南RC・PG)

【地区会員増強委員会】

今年度(2020~2021)の拡大委員会については残念ながら特に報告することはありませんが、会員増強委員会については2016年からの武部・国立・小山年度の3年間「月刊誌財界さっぽろ」での連載「ロータリーの神髄」を小冊子として発刊することを提案しておりました。福田年度で大半の予算を捻出して頂き、更に小山年度・福井年度にもご協力頂き「ロータリークラブは何をしている団体?」との表題で小冊子が完成、第2510地区内クラブ及び全会員に配布し、併せて全国の全ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・パストガバナーの皆さんに配布させて頂きました。

更には、公共イメージ向上及び会員増強につながることを期待し、地区内全クラブに会員増強用広報チラシ(世界、国内、各単位クラブの代表的奉仕活動をA1-1枚に表示した広報チラシ)「仲間になって!奉仕活動に参加しませんか!」を作成して提供致しました。

小冊子「ロータリークラブは何をしている団体?」と今年度に作成提供致しました会員増強用広報チラシ「仲間になって!奉仕活動に参加しませんか!」を、会員増強委員でもあるガバナー補佐皆様のご協力を頂き活用促進を図りたいと思います。会員企業並びに、庁舎、銀行、郵便局、病院、図書館、学校、飲食店、理美容室等公的機関を含め地域に広く配布され、公共イメージ向上及び会員増強につながることを期待いたします。



委員長

小山 司
(札幌RC・PG)

【地区RI国際大会推進委員会】

2021年6月12日~6月16日の日程で開催が予定されていた2020-2021年度 第113回国際ロータリー年次大会は、COVID-19パンデミックのためオンライン開催に変更となりました。予定では開催中の6月13日には、シェラトングランドホテルの台北喜來登大飯店で福井敬悟ガバナー夫妻、地区役員及び委員、参加ロータリアンの慰労と親睦を目的とした、恒例の北海道ナイトを開催することになっていましたが中止となり誠に残念です。

6月12日に開幕した国際大会にオンライン参加しました。プログラムは盛りだくさんで、本会議と分科会に加え、ローターアクトの会と青少年の会、会長・会長エレクトなどとインフォーマルな形で話し合える“Meet & Greet”、さらにはクッキングクラス、ヨガ、ダンスセッションなども準備されており、国際大会にふさわしい華やかな内容でした。

ホルガー・クナークRI会長のスピーチでは、ローターアクト活動の活性化、若い世代との交流と会員相互の議論とアイデアの交換の推進が強調された。「今はすべての会員にとって苦しい時期ではあるが、私たちはこの状況を乗り越えるために変化する。そして変えることは必ず新しい機会の扉を開くことになる」と、大変前向きで感動的なメッセージであった。

また、WHOのテドロス事務局長のスピーチでは、ロータリーのポリオ撲滅への努力に対する謝辞を頂くとともに、『ポリオを一掃するためのこれまでの手法が今度はコロナ撲滅に必ず役に立つはずです。WHOとロータリーがポリオ撲滅に手と手を取り合って協力してきたように、私たちはコロナを同じように「過去のもの」にすることができると信じている』という力強いお話でした。



委員長

石川 信行
(札幌手稲RC)

【地区文献資料室】

文献資料室は少しマイナーな委員会ですが、過去に蓄積された資料を管理する委員会です。地区の文献・資料についてはガバナー事務所ではなく、札幌のロータリークラブの合同事務所の一部を借りて保管されています。地区文献資料室の予算の大半はこの賃料の支払いということになっております。業務のメインは書籍やビデオテープ等の貸出なのですが、ロータリー文庫の充実や、ネット上での資料が豊富に提供されるようになってきていることから、その利用が激減しているというのが実情です。

さらに2020-2021年度の特徴として、各クラブの例会自体の開催も新型コロナウイルス感染症の影響で減少したこともあり、利用の低迷に拍車がかかっている状況です。また、同じく新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活発に委員会を開催することができませんでした。後段については、私の力量不足ということで反省しております。

私は一昨年、少しいびつになってきている文献資料室の在り方を見直したいと考え、委員長を拝命しましたが、委員長に就任するとその歴史的経緯から、一筋縄にはいかない、と思っていたところでした。地区としてもなかなか抜本的に見直すのも難しいと思っていたところですが、昨年札幌の合同事務所が入居している北海道ビルが来年2022年に取り壊しになることが決定いたしました。現在保存している資料を今後どのようにするべきかを否応なく決断せざるを得なくなりました。大きな課題が生じてきましたが、来年も委員長を継続させていただけることになりましたので、この課題を解決したいと考えております。最後になりますが、皆様におかれましては文献資料室の活動にご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。



委員長

前田 浩人
(苫小牧RC)

【地区学友委員会】

2020-21年度地区学友委員会活動を終えて。

2020-21年度地区学友委員会の活動といたしましては、2020年7月31日、ロイトン札幌を会場に「財団・グローバル奨学生壮行会」が開催されました。本来であれば6月末の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響で、奨学生のビザ取得が遅れたことから1か月遅れでの開催となりました。財団・グローバル奨学生壮行会は、ジョンズ・ホプキンス大学に留学予定の森雄一郎さん(疾病予防・治療)、イェール大学留学予定の兼田真周さん(水と衛生)、ロンドン大学留学予定の吉井啓太さん(疾病予防・治療)の3名の方々に自己紹介及び将来の展望について熱く語っていただきました。また、グローバル奨学金候補生の中村恵理さん(キルギスUNICEF在住疾病予防と治療)につきましては、当初タイのマヒドン大学への留学を希望されておりましたが、新型コロナウイルス蔓延によるフィールド活動の制限という実情を考え、イギリスのLSTM(Liverpool School of Tropical Medicine)への志望校変更を希望されており、財団奨学金・平和フェロー委員会としては再度申請を行っていることについて出村ロータリー財団副委員長から説明があり、壮行会は無事終了しました。

また、今年度の「第5回学友交流会・帰国報告会」は、2021年1月30日、ロイトン札幌を会場に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、北海道は令和3年2月15日まで「集中対策期間」を1か月間延長する決定を発表しました。これにより、令和3年1月30日開催を延期し、令和3年3月27日(土)14:00からロイトン札幌を会場に報告会が開催されました。振り返れば、昨年の「第4回学友交流会・帰国報告会」開催後まもなく新型コロナウイルス蔓延に伴い社会活動が停滞し、私たちの生活環境が一変してしまいました。欧米においても日々数万人という新型コロナウイルス感染者が発生している関係で、今年度は留学生、奨学生の皆様が日本と海外を以前のように渡航できずにいるのが現状です。このような環境の中ではございますが、皆様方のお力添えをいただき、何とか「第5回学友交流会・帰国報告会」を関係者のみで開催することが出来ました。今年も昨年に引き続き第1部で「学友とロータリー」をテーマにローターアクト学友

から高橋耕さん(ローターアクト副委員長/札幌南RC)、インターアクト学友から新井優也さん(岩見沢緑陵高校/岩見沢RC)、RYLA学友から佐藤直輝さん(第2510地区岩見沢ネクストローター衛星クラブ/岩見沢RC)、米山学友からヴァイアチェスラヴォヴァ・アリサさん(ロシア出身・北海道大学/札幌南RC)の計4名の方々に学友体験報告をしていただきました。引き続き第2部では「帰国報告会」として、海外でのプログラム体験を青少年交換学友・ローテックスから笹野瑚央さん(札幌旭ヶ丘高校/札幌東RC)、財団学友から清水一紀さん(2019-20年度グローバル奨学生・ロンドン大学衛生熱帯医学大学院/札幌RC)、覚知頌春さん(ドイツ・キール大学/札幌北RC)の計3名の方々に体験及び現況報告をしていただきました。今年度の報告会は発表者が4名、ビデオレター3名の計7名の方の発表が行われ大変有意義な報告会となりました。

その後、学友会ニューズレター編集委員会のメンバーの協力のもとニューズレターVol.5を完成させることが出来、これをロータリアンメンバーの皆様へ配布することで学友会活動についてアピールできたと考えております。また、6月25日に財団学友会総会を開催することが出来、今年度予定されておりました学友委員会の事業を概ね終了することが出来ました。最後に、今年度の地区学友委員会活動におきまして学友委員会委員・関係者の皆様及び財団学友会、米山学友会の皆様へ多大なご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。



委員長
渡邊 葉子
(札幌西北RC)

【地区RLI委員会】

質の高いリーダーシップ研修を通じて、クラブを強くする。

今年度は、オンラインによるセミナー開催となりましたが、全てのプログラムを終了された方は、36名でした。福井ガバナー始め参加者の皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。初めてのオンライン開催は、大変なことも多くございましたが、委員の皆様・ディスカッションリーダー(DL)の皆様の熱意で、無事終了することが出来ました。参加者の皆様が、クラブ活性化のための多くの気づきを得られたことを、願っております。

コロナ禍により、クラブ内コミュニケーションが取りにくくなる中、他クラブの取り組みに刺激を受けた方、クラブ長期計画(未来ビジョン策定)の必要性を痛感された方等、終了後のアンケートに記載いただきました。又、今後RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)のことを伝えたい、活用したいと参加者の大多数の方に言って頂きました。嬉しい限りでございます。

大日向ガバナー年度、7項目重点目標の一つに「リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す」とございます。気を引き締め、取り組んでいく所存でございます。

次年度は●パートI：9月12日●パートII：11月14日●パートIII：1月30日を予定しております。

全プログラム終了者を対象とした、卒後コース開催も計画いたしております。皆様のご参加宜しく願いたします。



委員長
岡崎 芳明
(小樽南RC)

【地区クラブ奉仕委員会】

クラブ奉仕委員会を終えて。

3年目を終えクラブ奉仕委員長を退任させていただきます小樽南RCの岡崎です。思い返しますに小山ガバナー年度の久保田地区代表幹事に呼び出され、ガバナーよりRI2510地区には職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の4つはあるが、クラブ奉仕委員会が無い事からは是非クラブ奉仕委員会を復活させたいと言うお話を頂き、以前にGSE委員会を9年(委員長4年)、その後ポリオプラス委員会を4年間(委員長3年)務めた経験から、無謀にも引き受けさせて頂き何とか3年間努めてさせて頂きました。クラブ奉仕委員会は短期で結論が出る委員会ではありません。そのなかで各RCさんの地域性やクラブ会員数の違いを考慮しつつ各RCさんの主体性を重んじながらクラブの活性化をうながしていく事が責務であり、その為に会員増強、会員同士の親睦また

地域社会との繋がり方も考えていくと言う大変難しい委員会でした。今期は新型コロナウイルス感染症の関係でズームばかりの会議でした。アンケートを出し纏めた物をガバナー補佐の皆様や各クラブに配布しクラブ運営の参考にして頂きました。

この3年を思い返し一番慌てた事は小山ガバナー年度の会員増強セミナーです。私はアンケートの中間報告という事で10分程度の話を纏めたのですが、その際のセミナー講師の菅原宏典氏の講演内容が半分以上私の話す内容と被ってしまいました。当然私の方が後から話す為に同じ様な内容を話す事に困り果て会場から逃げ出したいくなりました。しかし皆さんより話す立場が違うし同じ内容でも繰り返し聞く事で初めて頭に入るのだからと窘められ、冷や汗をかきながら壇上で話をしたという今となっては懐かしい思い出です。単年度で結果は出ず、これが終わると完了だと言う事も無く、私にはどちらかというと不得意な分野の委員会でしたが、地区RCの皆様や委員会の皆様に支えられて3年間無事に終えさせてきました。皆様のお力添えに心よりお礼を申し上げ退任の挨拶に代えさせていただきます。

在任中の温かいご協力誠にありがとうございました。



委員長
武蔵 輝彦
(岩見沢RC)

【地区公共イメージ向上委員会】

「開かれた機会の扉」の見える化に一年間務めていく、その想いでスタートした今年度の公共イメージ向上委員会。新型コロナウイルス感染拡大の中にあって思うように動けない、そんな一年でした。その中で公共イメージをどう構築していくのか、効果的な広報の手段・ロータリーブランドの浸透・そもそもロータリークラブって何?という関係者以外の方々に認知してもらうにはどうやって誰が行動していくのか。色々と頭の中に考えが浮かんで消えていきました。

昨年までは広報・ICT委員会としてマイロータリーの登録の推進や地区ホームページの充実等具体的な活動があったのですが委員会構成の変更によりほとんどがICT委員会の担当業務となりました。そんな中、昨年度末にようやく作成できたのが財界さっぽろ連載の「ロータリーの神髄」を一冊にまとめた「ロータリークラブは何をしている団体?」でした。発刊できたのは今年度8月となり発送並びに各クラブへのPRは今年度の仕事となりました。内容は地区内70クラブの皆様の素晴らしい活動の一コマを映し出した記録であり、武部パストガバナーの熱い想いのこもった一冊となり、ロータリーのPRに大いに貢献できるものだと思っています。各クラブに送付したお願い文章では一般の人の目につくところ、例えば公共施設や銀行・病院などの待合室に置いてもらうような方法のありますと書きました。でも、その場所もコロナ禍にあっても本などは撤去されている施設も多く、訪問すら控えざるを得ない状況でした。今後ある程度平常に戻った際には改めて活用を検討して頂きたいと思っています。

また公共イメージ向上の手法はマイロータリーにあるラーニングセンターに色々なヒントが例示されているので、そちらも活用頂きたいと思います。

最後に一年間お世話になった皆様、そして福井ガバナーに感謝申し上げ退任にあたっての挨拶とさせていただきます。



委員長
坂井 治
(千歳セントラルRC)

【地区ロータリー情報委員会】

今年度はコロナ禍の中、なかなか委員会が開催できませんでしたが少しおさまってきた7月に札幌と10月に小樽でリアルでの開催ができました。

その後また感染拡大のためZoom開催に切り替えての委員会を2回、合わせて4回の委員会を開催できました。前半少しもたつきましたが何とか年内に各クラブへの現状のアンケート調査を終えることが出来ました。

アンケートはクラブ奉仕委員会として合同のものでしたのでクラブ奉仕、ICT、公共イメージ向上の各委員会からの設問も盛り込みました。

ロータリー情報委員会としてはコロナ禍に於ける例会や各種会合のあり方や福井ガバナーの

地区目標のひとつである中長期戦略計画についての各クラブの取り組みなどについてのアンケート調査を行いました。コロナ禍における例会などの開催方法の調査につきましては各クラブも日々変化しており集計して報告するまでに情報が古くなってしまうということもありました。集計や報告方法などについての細部の調整などは委員会以外にZoomで6回、メールでのやり取りも多く行いました。コロナ禍によってオンライン委員会を多用したことにより従来のようにリアルに集まることに比べて逆に密度の濃い活動が出来た一年間だったと思います。

委員会メンバー、担当地区幹事、地区内の皆様にはご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

【地区ICT委員会】



委員長

堀元 雅司
(千歳セントラルRC)

2020-2021福井ガバナー年度、ICT委員会委員長を務めさせて頂きました。福井ガバナーには、Zoom委員会にご参加頂き、貴重なご意見を頂きながら進めさせて頂きました。新型コロナウイルス感染症の終息も有るかと思っていたのですが、なかなかワクチン接種も進まず、コロナ禍での委員会活動でした。やはり、コロナ禍と言うことで、Zoomなどのリモートでの委員会や例会が、かなり行われた年度になりました。ICT委員会としては、Zoomでの委員会や例会のお手伝いが出来ればと、ガバナー月信でZoomの利用方法など書かせて頂きました。

委員会として、福井ガバナー年度は、地区のホームページの充実と言うことで、リニューアルを行いました。各、委員会から直接ホームページに、情報をアップ出来るようにしました。更に、スマホでも見やすく表示されるように対応しました。ガバナー月信は、毎月原稿を書くように言われ、文章を書くのが苦手なので、Zoomの事やMy Rotaryの登録についてなど、書かせて頂いていました。ICT委員会のFacebookの登録者も増えましたので、次年度も利用して行きたいと思っています。My Rotaryの登録も、なかなか進まない状況ですが、次年度も登録者数を増やす活動は進めて行きたいと考えています。

ICT委員会の動きは、地区大会の時にビデオを作成しましたので、QRコードを読み込んで、YouTubeでご覧頂ければと思います。

次年度も、引き続きICT委員会委員長を続けさせて頂きます。ご協力よろしくお願ひいたします。



【地区職業奉仕委員会】



委員長

玉井 清治
(函館亀田RC)

福井ガバナーとともに活動できたことは、私にとって生涯忘れることのできない貴重な体験でした。また、それを支える地区幹事の皆様の結束の固さとチームワークにロータリーの素晴らしさを感じた1年間でした。

新年度がスタートする約半年前の地区チーム研修セミナーの頃から新型コロナウイルス感染症が世界に広がりはじめ、国際大会も中止となり、7月は波乱のスタートでしたがガバナーによるZoom等でのオンライン会議の積極的な導入推進により、当委員会もガバナー参加の委員会をZoomにて何度も開催することができました。また、各クラブの職業奉仕委員長さんから卓話スピーチの依頼もたくさんいただきましたが、残念ながら1月の職業奉仕月間を中心にほとんどが例会中止によりキャンセルになりました。そのような状況下でも砂川RC・函館東RC・滝川RC・札幌南RC・札幌手稲RC・札幌モーニングRCの職業奉仕委員長さんから強い要望があり、Zoomまたは直接クラブにお伺いして実施出来たことは、たいへん嬉しい思い出です。また、ガバナー月信の貴重な1ページを活用させていただき、毎月コラムを掲載させていただいたことに感謝しております。

いちばんの楽しかったことは、地区大会の「サブチャンネル」で、地区職業奉仕委員長として解説者のご指名をいただき、実況役の西方RYLA委員長と5時間ロングランで思う存分解説させて頂いたことです。福井ガバナーと地区大会実行委員会の皆様の地区大会への熱い思

いに何も考えずお引き受けしましたが、初めての試みに想像以上のプレッシャーを感じました。ところが西方委員長の見事な実況のおかげで一瞬のうちに時間が過ぎました。ゲストでご参加いただきました福井ガバナーをはじめ、塚原パストガバナー、羽部パストガバナーの素晴らしいお話しをお伺いすることが出来たことはたいへん勉強になりました。きっとサブチャンネルをご視聴いただいた方々も同じだと思います。また、小山地区代表幹事や平川地区副代表幹事、池田地区大会実行委員長、高張地区幹事のインタビューには刻々と変わる感染状況の変化に対応された苦労話、北川次期地区クラブ奉仕委員長や堀元次期地区ICT委員長の次年度への意気込みなどロータリーの素晴らしさを実感した地区大会でした。

次年度も引き続き地区職業奉仕委員長ですので、皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



委員長
富岡 豊
(静内RC)

【地区国際奉仕・VTT委員会】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の為、事業の遅れや変更、検証ツアーの中止など多々影響がありました。タイ国第3340地区、第3350地区の皆様のご協力により、並行して事業を展開する事が出来ました。

2020-2021年度における地区国際奉仕人道支援事業として、タイ第3340地区タイ東北部での人道支援事業を地区内22クラブから申請を頂き実施する事が出来ました。

事業内容は、貧困地域の小中学校での水の衛生WASHプログラム事業、貧困学生へ奨学金事業及び職業訓練事業(理美容・救命救急隊員育成)を男子孤児院の「ボーイズホーム」貧困学生支援を支援する「職業訓練校」で実施しました。

また、「地区補助金」を利用して、第3350地区カンボジアのロータリークラブと共同で、新型コロナウイルス感染拡大で貧困状況が悪化するアンコールワット周辺の子供達への朝食提供事業、第3350地区タイセントラルと共同でタイ北部の山岳民族の子供達への教育支援事業を実施しました。

更に、「グローバル補助金」については、タイ第3340地区タイ東北部と共同で東北部ブンカーン県での「貧困集落の子供達へ綺麗な水と手洗い指導とリサイクル石鹸事業」、また、ロータリーがまだ無いベトナム山岳地で「オンライン教育整備事業」の2件を継続実施中です。新型コロナウイルス感染症が収束した際には、申請頂いたクラブの皆様と共に現地を訪れたいと思っております。

最後に、今年度地区人道支援事業に参加された28クラブ、総額150万円支援申請金額の10%をR財団年次寄付として、各クラブの実績とさせて頂きました。



委員長
高山 和宏
(札幌東RC)

【地区社会奉仕委員会】

今年度は、胆振東部地震の支援活動のまとめの時期としてスタートしましたが、新型コロナウイルス感染防止対応により委員会活動が予定通り実行できず、中途半端な形で終わってしまい、大変反省しております。そのなかで、一番記憶に残った支援活動が鶴川高校への教育備品の支援でした。震災以降、むかわ町には何度も足を運び、地域のニーズをヒアリングして支援活動を実施してきたつもりでしたが、鶴川高校は道立のため、同じ町内とはいえ、どんなことで困っているのか、知ることさえできていませんでした。

ガバナー事務所の寺島さんから鶴川高校の三村校長をご紹介いただき、被災により教育備品が壊れたままで、予算的に余裕がなく困っているという実情を直接お聞きすることができ、支援実施に結びつきました。この支援活動を通じて、現地の実情を把握することの難しさと大切さを身を以て学びました。また、胆振東部3町の中高生を対象にした吹奏楽クリニックも6月27日開催に向けて、ぎりぎりまで実施に向けて準備を進めてきましたが、コロナ禍で実施できなかったことも残念でなりません。いろんな制約がありますが、可能であれば、次年度に引き継ぎ、実施できることを願っております。胆振東部地震の支援活動につきましては、小山年度、福田年度、そして福井年度と3つの年度にわたり、多くのロータリアンにご協力いただき、実施することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



委員長

山口 史朗
 (札幌東RC)

【地区青少年奉仕委員会】

今年度は、昨年度から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響で、予定されていたプログラムなどが軒並み中止になりました。楽しみにしていたインターアクターや交換留学生などの気持ちを考えると残念な思いですが、感染者が出なかったことには安堵しています。

今年度の一番のトピックスは、RAC全研(全国研修会)です。アクト達は出来れば「リアル開催」をしたかったんだろうと思います。「オンライン開催」に変更になってからも青年らしい切替の早さで、ポジティブに積極的なチャレンジを重ね感動の舞台となりました。「RACラマチ、たごまる。」をテーマに掲げ、全国のアクトが情熱と魂を込めて心をひとつに、大いなる飛躍の機会となったと実感しました。参加者からも概ねご好評をいただき、ご支援ご協力いただいたロータリアンの皆様並びに関係各位に心から感謝と御礼を申し上げます。

今年度を振り返ると、まだまだ課題が残りました。ニューノーマルと言われる今、青少年奉仕のあり方も変革の時なのかも知れません。新しい試みとして、IACが「Zoom交流会」を企画しています。まだ実現するかどうかは未確定ですが、他地区のIACとZoomを活用して交流しようとの試みです。今まで、当たり前と感じてきたリアルなふれあいの価値を噛みしめながら、これからの時代を拓く、密にならない奉仕活動、新たな武器を活用したプログラムにチャレンジしたいと思います。一年間お世話になりました皆様に感謝を申し上げ、青少年奉仕の一層の充実を目指します。ありがとうございました。



委員長

西村 英晃
 (恵庭RC)

【地区青少年交換委員会】

1年を振り返ってみて。

2年度連続での交換の中止となってしまいましたが、派遣候補生のスポンサークラブならびにクラブ関係者の方々、青少年交換事業にご尽力頂きました皆様一年間どうもありがとうございました。

この一年間で途中までオリエンテーションに参加し夢と希望に満ち溢れた学生達の派遣が叶わなかった時、学生たちの顔を見る事は私含めて委員会メンバーとても辛く、次年度は是非交換をさせてあげたいという気持ちでいっぱい年度が終わりました。その中、より時代に合った活動が行えるようにと、今年度委員会では資料の見直し、Zoomを利用した開催の実施や、コーディネーターの方々は交換ができるかどうか分からない状況下で海外の担当者と密に連絡を取り進め、結果アメリカ第7170地区とは今年度候補生が次年度オンラインで交流が持てる場を作ることも出来ました。交換自体は中止になってしまったものの各委員の持っている専門性を生かし次回交換へ向けての活動ができたことも委員のメンバーのおかげです。

青少年学友(ROTEX)に関しては、リアルでの活動が途中から難しくなってしまう残念でしたが、若者の知恵を絞ってFacebookを利用した当地区ROTEXのFacebookページを開設、情報の発信、Zoomを利用した交流会開催などに取り組んだ事は一年また一年と少しずつではありますが活性に繋がってきています。(Facebook検索→Rotex District 2510)

このような一年間ではございましたが、次年度は交換ができることを願い、本年度も未来ある青少年の育成に関わらせて頂いたこと、心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



委員長

川本 康裕
(室蘭北RC)

【地区ローターアクト委員会】

ローターアクトクラブの未来。

初めての委員長としての1年が終わりました。今まで地区ローターアクト委員会の委員や副委員長を経験していて、委員長は大変だなと言うことは漠然と感じてはいましたが、自分の能力不足もありますが想像を超える仕事量でした。

今年度は「第33回全国ローターアクト研修会」が本番をむかえました。実質4年前から構想を練り、具体的に2年ほど前から予算を始め札幌に1,000名を目標に登録は元より実際に参加してもらう方向でしたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により最終的にはオンライン開催となりました。その間、紆余曲折はありましたが無事終了することが出来ました。また2019年の規定審議会はローターアクトをRIの加盟クラブに含むこととなりました。そこから今までのローターアクトの概念が大きく変わりました。もはやローターアクトは青少年委員会のプログラムの一つではなく、ロータリークラブと同等の存在としたのであります。

2022年7月1日よりあらゆる内容が実行されます。RIに会費を支払う義務が発生します。ローターアクトの年齢が18歳以上という表現になり今まで30歳であった上限が撤廃されます。いくつかの条件はありますが、地区のグローバル補助金を申請することが出来ます。しかし地区に会費を支払う規定はありません。今後は先程述べましたが、ローターアクトクラブが青少年委員会のプログラムから外れるのであれば、地区ローターアクト委員会の存在意義は失われます。つまり、今まで地区委員会の予算の一部を地区のローターアクト委員会に活動費として補助してきましたが、今後はローターアクト自ら活動費を作らなくてはならなくなるかもしれません。次年度はローターアクト委員会として地区や提唱クラブそしてローターアクトと協議を重ね自立したクラブ運営ができるよう指導育成していかなければいけないと考えます。各地区の動向を踏まえながら第2510地区としての未来ビジョンを早期に組み立てる必要があります。

ロータリーは「奉仕の理想」を語り行動する事を忘れてはならないと思います。今後とも皆様からのご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。



委員長

西方 洋昭
(岩見沢RC)

【地区RYLA 委員会】

今年度はコロナ禍により、二度の緊急事態宣言や、まん延防止措置がとられ会合すらままならない年となってしまいました。私たちRYLA委員会に於いても膝をつき合わせて行える委員会の開催が思うように出来ずZoomを使ったビデオ会議で対応することとなりました。これはこれで遠いところから時間を掛けて集まらなくても出来る委員会手法としては非常に便利であり、コロナ終息後も活用できる委員会手法であると実感しました。とは言ってもメイン活動であるRYLAセミナーの実施は若い世代を集めて行う活動であるため11月の時点で断念し次年度への準備に切り替えました。また、例年であれば開催される予定の地区大会での青少年並行プログラムも残念ながら感染拡大防止措置により無くなってしまいました。来年度は開催出来ることを期待します。

委員会のもう一つの柱である、RYLA学友会の発足については、委員会メンバーでライラリアンの佐藤委員(岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ)をリーダーとし、身近な岩見沢のライラリアン数名とコア会議を行い学友会発足への準備が始まりました。また、次年度のRYLAセミナーに向けてライラリアンが企画から関わりを持っていくチームとしてチームライラを発足し中核メンバーとなって今後のネットワークを広げていきます。今年度はコロナ禍により次年度に向けての準備の年度となってしまいました。来年度こそは次世代の若者と大いに盛り上げられることを期待します。

御苦労されながら地区運営をされた福井ガバナー、地区幹事団の皆様にご敬意を表し報告とさせていただきます。



委員長
大西 正啓
(札幌モーニングRC)

【地区インターアクト委員会】

今年度より地区インターアクト委員会委員長を拝命し、地区役員、委員会委員、顧問の先生など多くの皆様に支えられ、一年間の活動を終えることができました。

昨年8月に予定されていた当委員会最大の事業である海外研修がコロナ禍で中止となり、その後も予定していた年次大会や地区大会への参加等実現することができず、残念な一年となりましたが、年4回の委員会はすべて実施することができました。福井ガバナー、宮坂地区幹事、山口青少年奉仕委員長にも出席いただき、委員、顧問の先生とともに様々な意見交換をできたことは、今年度の大きな収穫となりました。現在新たなインターアクトクラブ創設の計画もあり、次年度には実現できるのではないかと期待しております。

さらに次年度の予定となりますが、東北への研修旅行が、昨年の海外研修に引き続き中止せざるを得なくなりましたが、オンラインを活用した東北のインターアクターとの交流等新たな計画も現在検討中で、今できる最善の方法をこれからも模索していきたいと考えております。



委員長
熊澤 隆樹
(小樽 RC・PG)

【地区ロータリー財団委員会】

今期1年間を振り返って

丸山前委員長の素晴らしいリーダーシップには程遠いですが、1年間の任期を無事終えることができ、委員会の皆様のご協力に感謝致します。

今期は、特に地区補助金での海外への支援を前年に引き続き力を入れ、これまでのタイからカンボジアへと支援の輪を広げることができました。そして現地のロータリアンの助けを頂きながら奉仕活動を体験でき、私にとっても大変有意義なものとなりました。

また、これらの活動や毎年イベントに参加支援していただいている当地区会員の皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

最後に、この財団寄付について全クラブが協力して寄付金額を達成していることに感謝申し上げます。



委員長
澁谷 良治
(札幌真駒内RC)

【地区財団補助金委員会】

2020-2021年度 地区財団補助金委員会活動報告書

皆さまのご協力のおかげで4年間無事に補助金委員長を務めることができました。

地区補助金委員に就任当時は知名度がまだ低く、申請件数も少ないため地区内クラブの例会卓話や、IMでPR活動に努めました。

就任時は補助金の申請は20件ほどでしたが、21-22年度は45クラブから申請書が届いており、いまは地区クラブの64%が申請しています。

R財団からの地区補助金は20-21年度9,005,851円、審査の結果37クラブの全プログラムを承認し、承認額は合計5,965,241円といたしました。地区委員会からは5件の申請があり、2,788,575円で管理運営費は252,035円でした。

委員会は今年度、岩見沢RC上野英一、札幌モーニングRC天内和幸、札幌北RC瀧澤隆之介、恵庭RC大川武志の4会員に地区補助金委員としてご協力いただきました。地区補助金委員会は年次寄付金を基にした奉仕活動であり、各クラブへ補助金の支払いなど現金の取り扱いもあります。金融機関の窓口での振込依頼や、申請書と報告書の確認・管理などパソコンを使用した作業も多く発生します。このため委員会の若返り、育成を目標にして活動し、目標を達成できたと考えております。

皆様、長い間ご協力をいただき誠にありがとうございました。



委員長

松原 重俊
(砂川RC)

【地区財団奨学金・平和フェロー委員会】

素晴らしい財団奨学生との出会い！

出村知佳子委員長からの引き継ぎで、経験のない委員会と奨学生を選考する事に対しての責任もあり、不安の中でのスタートになりました。しかし沢山の関係者皆様のご支援を頂き、財団奨学生の募集、選考そして出発と何とか順調に進める事ができました。関係各位にお礼と感謝を申し上げます。

さて今だ終息の目途が立たない新型コロナウイルス感染症の中で、海外留学を目指す若者がどれだけいるのかと思っていましたが、10名(グローバル補助金5名、地区補助金5名)の応募がありました。書類選考、面接を経てグローバル奨学生候補者1、地区補助金奨学生2名を選考いたしました。今回の面接は、コロナ禍だけでなく12月の雪の影響も心配され、1名がビデオ面接になった事もあり、公平を期すために事前に主な質問事項を知らせたり、評価方法の統一と共に採点・評価も面接官だけでなく、ビデオや音声での採点・評価に関係者にもお願いした上で選考いたしました。その結果、志高く自らの目標を達成する意欲も強い素晴らしい奨学生と出会う事ができました。選考する事の責任の重さは言うまでもありませんが、この出会いはロータリー財団だけでなく全てのロータリアンにとっての宝物であると思っています。今後の活躍がとても楽しみです。

今年度もコロナ禍での留学であり前年度からの留学生も含めグローバル奨学生3名、地区補助金奨学生3名の留学が予定されています。さらにきめ細かい奨学生へのサポートを行っていきたいと思っています。

今後とも皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



委員長

伊藤 利道
(札幌南RC)

【地区ポリオプラス委員会】

委員長を終えて。

委員会は各クラブのポリオ根絶活動・募金活動の支援のため創られたクラブです。2014-2015年度 羽部大仁PGの時に誕生し、2017-2018年度から私が委員長を担当しました。各クラブのポリオ根絶の行事への参加、ポリオ根絶の卓話、ENDPORIONOWバッジの送付、END PORIO NOWロゴ入りポケットティッシュの作成・配布などの活動をしてきました。

今年度は福井ガバナーの希望もあり札幌男声合唱団ススキノによるポリオ根絶チャリティー・コンサートをポリオデーに開催することとし、令和1年秋より打ち合わせを行っておりました。令和1年12月にはススキノ・クリスマスコンサートを福井ガバナーと鑑賞し、是非第2510地区でもチャリティー・コンサートを実現したいとの思いを強くしました。(この時のチケットは、ガバナーが奥様と行く予定で用意されていたものと思いますが、今でも申し訳なく思っております。)しかし、令和2年に入り新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、400人規模で会食を伴うコンサートは開催困難と判断し、開催中止としました。

その後、コロナ感染が少し収まった令和2年10月22日(木)ポリオ根絶チャリティー・コンサートをプレミアホテル-TSUBAKI-札幌で開催しました。第4・5グループの会員のみを対象にし、ヴァイオリンとピアノのみのミニコンサート形式で行い、ガバナー御夫妻・パストガバナー・会長・幹事など54名が参加され、久しぶりにリアルでの会合となり楽しいひと時となりました。

今回で委員長を退任しますが、もうしばらく委員として残り委員会活動のお手伝いをしたいと思います。



委員長

佐藤 竜也
(北斗RC)

【地区米山記念奨学・学友委員会】

福井敬悟ガバナー年度を終えて。

一昨年の7月、福井敬悟ガバナー年度がスタートした状況は半年前の2月下旬に新型コロナウイルスまん延が始まり、収束の兆しも見えない不安の幕開けと記憶しております。3月の会長エレクト研修セミナーをDVD動画収録の形式に切り替え、米山セミナーも同じく行われました。その後の地区研修・協議会も地区大会も開催延期を余儀なくされて、結果、今年の5月にリアルとオンラインのハイブリット形式による大会を作り上げ、素晴らしい対応に感動し、地区大会実行委員会の方々の結束力で大会を成功に導かれたことには感動しました。

米山記念奨学・学友委員会の活動もコロナ禍に翻弄された一年でした。3月の修了式、4月のオリエンテーションとカウンセラー研修も開催できないまま、年度がスタートしました。米山記念奨学会の事業年度は、4月に始まり3月で終了です。ロータリー年度より3ヶ月先に始まります。2021年3月度は、福井敬悟ガバナーにご出席をいただき、修了式をリアルで開催できました。4月のオリエンテーションとカウンセラー研修も同様に開催できましたことの幸運に感謝しかありません。

地区委員会は6回開催をし、Zoom会議用ライセンスを委員会として購入させていただき3回開催しました。

福井敬悟ガバナー年度の米山奨学生数は、新規19名、継続5名の計24名でした。24のクラブにお世話をいただいております。例年は、地区大会でロータリアンとの直接交流の機会をいただいておりますが、今年度は叶いませんでした。次年度は直接の交流ができることを念願しております。終わりに、第2510地区のロータリークラブ会員各位に米山記念奨学会事業にご理解をいただいておりますことに感謝と御礼を申し上げまして、今年度の活動報告とさせていただきます。



新会員のご紹介

(敬称略)



小樽RC新会員
千代間 淳
令和3年6月8日
入会
職業分類：ホテル



苫小牧東RC
奥村 訓代
令和3年6月17日
入会
職業分類：大学



苫小牧東RC
緒方 砂織
令和3年6月24日
入会
職業分類
障がい児通所施設



苫小牧RC
中野 正紀
令和3年6月25日
入会
職業分類：電気通信

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



余市ロータリークラブ
谷川 淑郎 会員 2021年6月11日ご逝去(享年 80歳)

【経 歴】

1942年6月17日生

職業分類：内科医(余市協会病院 顧問)

【ロータリー歴】

1985年4月17日 余市ロータリークラブ入会

1995～1996年度 余市ロータリークラブ 幹事

1998～1999年度 余市ロータリークラブ 副会長

1999～2000年度 余市ロータリークラブ 会長

2012～2013年度 第2510地区第6グループ ガバナー補佐

2012～2014年度 地区米山学友委員会 副委員長

【表 彰】

ロータリー財団 メジャードナー

米山記念奨学会 メジャードナー

私の留学理由

ウ ジョウハン
吴 姣涵(中国) 北海道教育大学・札幌北RC

私は吴 姣涵(ウ ジョウハン)と申します。出身地は中国の遼寧省瀋陽市、北海道と大体同じ緯度の寒い町です。今年で来日三年目になり、現在北海道教育大学の修士2年生として在学しております。専攻分野は社会科教育の経済学です。

よく「なぜ日本に留学しようと思ったのか」と聞かれますが、子供の頃、「名探偵コナン」というアニメを観たのが日本に初めて接触したことです。それがきっかけでインターネットで日本のアニメとドラマなどを次々と検索し見た後、日本についてのことに興味を持つようになりました。当時はもちろん日本語も全く話せず、しかし言葉の美しさをすごく感じました。いつか、自分のこの身でこういう魅力的な異文化を体験したい、日本語を話せるようになりたいと思っていました。

大学の頃、多くの日本人留学生のイベントや交流会に参加して、その交流でずっと憧れていた日本文化に接した感動と初めて中国の良さをアピールできた満足感が、更なる日本へ留学してみたい決心を固めました。そして大学三年生の時、交換留学生として北海道に留学でき、充実な一年間を過ごしました。

大学卒業した後、日本社会特に経済的な分野の知識を身につけるよう、そして中日の架け橋になれるために再び日本へ留学しに来ました。

日本国内の中で、一番好きな場所は北海道です。北海道は自然に恵まれている大地で、四季折々の風景と絶品グルメの名地です。2019年10月に札幌にやってきて、元々研究に専念しながら、北海道の面白みを存分に味わって見たかったのですが、コロナウイルスの影響で2020年から



世の中が混乱になり、悲しいニュースや出来事、耐えなければならない事が多く、大変な時代になってしまい、今でもなかなか落ち着けずにいる。幸いにロータリー米山奨学生にもなれるこの貴重な機会をいただき、心より感謝を申し上げます。学生生活はあと半年しか残っていませんが、優れた方々と交流や仲良くなって楽しい思い出をたくさん作れると嬉しいです。そして様々な活動や体験を通じて自分もロータリー精神を受け継いでいきたいと思っております。

目紛しい毎日が全国的に広がっていて不安になることも多くある日々ですが、気を緩めずに、自分へ周りの方々へと思いやりを持って自分らしく過ごしていきましょう!一刻も早くコロナを抑え、平和な生活に戻れるよう心から祈っております!



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌モーニングRC	坂本 勝彦	会員	(10回)	6月30日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員	(4回)	6月30日
札幌幌南RC	羽部 大仁	会員	(15回)	6月17日
新札幌RC	高田 芳夫	会員	(3回)	6月28日
小樽南RC	松浦 光紀	会員	(3回)	6月25日
静内RC	大森 康正	会員	(1回)	6月 8日
函館五稜郭RC	酒井 正人	会員	(19回)	6月10日
函館五稜郭RC	塚田 寛	会員	(2回)	6月10日
函館五稜郭RC	岡田 恒男	会員	(2回)	6月10日

米山功労クラブ

滝川RC	(36回)	6月 8日
札幌モーニングRC	(20回)	6月30日
函館五稜郭RC	(31回)	6月10日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

函館亀田RC	稲葉 直房	会員	(2回)	5月19日
函館亀田RC	秋田 正悦	会員	(3回)	5月19日
札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員	(4回)	6月30日
札幌モーニングRC	井野 智	会員	(5回)	6月30日
札幌幌南RC	長沢 祐純	会員	(1回)	6月29日
札幌幌南RC	伊藤 利道	会員	(4回)	6月29日
小樽南RC	三栖 裕司	会員	(1回)	6月29日
小樽南RC	村越 仁	会員	(2回)	6月29日
小樽南RC	斎藤 仁	会員	(4回)	6月29日
小樽南RC	松浦 光紀	会員	(5回)	6月29日
小樽南RC	岡崎 芳明	会員	(5回)	6月29日
小樽南RC	新倉 吉晴	会員	(6回)	6月29日
小樽南RC	斎田 義孝	会員	(7回)	6月29日
室蘭RC	濱中 實	会員	(2回)	6月 4日
室蘭北RC	加藤 栄吉	会員	(1回)	6月29日
函館RC	加藤 憲孝	会員	(3回)	6月23日
函館RC	中澤 郁雄	会員	(3回)	6月23日

函館五稜郭RC	高橋 信二	会員	(1回)	6月11日
函館五稜郭RC	川村 隆夫	会員	(2回)	6月11日
函館東RC	五十嵐 正	会員	(1回)	6月22日
函館東RC	佐藤 真一	会員	(1回)	6月22日
函館東RC	佐藤 美子	会員	(1回)	6月22日
函館東RC	池垣 信一	会員	(2回)	6月22日
函館東RC	時田 茂	会員	(2回)	6月22日
函館東RC	森元 浩	会員	(6回)	6月22日

ポール・ハリス・フェロー

函館亀田RC	佐藤 猛	会員	5月19日
栗山RC	松下 早苗	会員	6月10日
岩内RC	川崎 孝之	会員	6月25日
小樽RC	田中 良和	会員	6月 4日
函館東RC	長谷川浩之	会員	6月22日
函館東RC	野呂 信詞	会員	6月22日

第1地域 RRFC便り 6月号



(この写真はロータリーボイスの表紙の写真です。)

資金モデルの変更

ロータリー財団は、資金モデルへの大幅な変更を発表しました。この変更は2021年7月1日から有効となります。この変更についてより良くご理解いただくため、3月17日にロータリー財団管理委員会と国際ロータリーのシニアスタッフによるウェビナーが開催され、変更の内容を詳しくご説明するとともに、皆さまからのご質問にお答えしました。ウェビナーの記録は近日中に送られる予定です。

1. ポリオプラスへの地区財団活動資金(DDF)の寄贈に対しては、国際財団活動資金(WF)から、100%ではなく、50%が上乘せされる。
 <質問>ビル&メリンダ・ゲイツ財団との関係への影響はありますか<回答>ありません。
2. グローバル補助金のための、DDF拠出に対するWFからの上乗せが、80%に引き下げられる。
 <質問>これは一時的な変更でしょうか<回答>需要と供給のバランスが変わらない限り、戻る見込みは低いです。
3. 年次基金(シェア)への寄付の5%が、運営費としてWFとDDFから均等に差し引かれる。
 <質問>毎年引かれますか<回答>はい。
 <質問>2021-22年度DDFへの影響はありますか<回答>DDFが47.5%となるのは、2024-25年度からです(寄付の3年後)。<質問>地区補助金の申請上限額への影響はありますか<回答>年次基金(シェア)への寄付から5%が引かれ、DDFとなった金額(寄付の47.5%)をもとに計算します。
4. DDFの未使用額を繰越しできるのは5年間のみとなる。
 <質問>どのように計算しますか<回答>その年度

のDDFが使い果たされた場合、古い年度の繰越から順に利用されます。(下記図)<質問>簡単に確認できるレポートがありますか<回答>新しいレポートが検討されています。

	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25	2025-26
新しいDDF		\$50,000	\$50,000	\$50,000	\$50,000	\$50,000
繰り越しDDF		\$20,000	\$30,000	\$35,000	\$30,000	\$20,000
DDFの使用		-\$40,000	-\$45,000	-\$55,000	-\$60,000	-\$65,000
繰越残高	\$20,000	\$20,000 \$10,000	\$20,000 \$10,000 \$5,000	\$15,000 \$10,000 \$5,000 \$0	\$5,000 \$10,000 \$5,000 \$0 \$0	\$0 \$0 \$5,000 \$0 \$0 \$0
年数:		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目

(この資料は財団NEWS5月号から転載しています。)

年次基金寄付ゼロクラブゼロにご支援を

新型コロナウイルス感染拡大により、クラブの取り組みや会員の皆様の生活へ大きな影響がある中でも、ロータリーを支えるための寄付をお寄せいただき誠にありがとうございます。クラブ会員のお一人でも年次基金へご寄付をいただければ年次基金寄付ゼロクラブではなくなります。今年度も年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。(羽部記)

(地区別年次基金寄付ゼロクラブ数2021年5月21日現在の各地区の現状は下記の通りです。)

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	10	2620	9	2740	3
2510	7	2630	2	2750	4
2520	8	2640	7	2760	0
2530	4	2650	0	2770	2
2540	12	2660	1	2780	1
2550	1	2670	3	2790	1
2560	1	2680	2	2800	2
2570	0	2690	5	2820	0
2580	1	2700	2	2830	3
2590	0	2710	2	2840	2
2600	2	2720	5	合計	118
2610	2	2730	14		

地区内の年次基金寄付ゼロクラブの確認は「月次寄付レポート」をご参照ください。※通常、ご寄付から約2週間後にレポートへ反映されます。

《My ROTARY にログイン→「ロータリー財団」にカーソルを当てて、表示されるメニュー内「各種レポート」→「地区のレポート」→「寄付&認証」の「レポートを見る」→月次寄付レポート》

今年もゼロクラブゼロに向けての特段のご支援を宜しくお願いいたします

深刻な状況にあるインドに支援のお願い

私たちは、2021年が、世界が新型コロナウイルスから解放される年になるだろうと期待していました。しかし、インドで第2波が深刻化し、ブラジルの状況も悪化するなど、落胆を隠せない状況となっております。新型コロナウイルスから無傷でいられる地域はありません。

ワクチンの開発と配布は、世界の一部地域において、希望と期待、そして正常な状態への回復というビジョンをもたらしました。しかし残念なことに、多くの地域では大幅に遅れが生じており、最近の大規模感染により、これまでで最も高い感染レベルに達しています。

患者の数は1日に40万を超え、深刻な酸素不足、病院のベッド不足、死者数の増加など、インドでの惨状は一向に緩和する気配がなく、支援が急務となっております。また、ブラジルをはじめとする数多くの国も同様の問題に直面しており、支援の必要性が高まっています。

このため現在、酸素濃縮器や人工呼吸器などの物資や機器、その他必要なものを送り、支援を行うことを呼びかけております。地区内クラブと協力し、物資を必要としている国のロータリークラブと連携して物資の現物支給を促進し、業者を通すか、あるいは自費で物資を発送するための調整を行っていただくことを進言させていただきます。また、ほかのクラブや地区、地元団体と協力して作業を行うこともできます。

地区、クラブ、会員によっては既に物資やサービスを提供しており、ブラジルやインドを支援するために既成概念にとらわれずに行動を起こしています。以下がその例となります。

◎ロータリー第6400地区とエセックス・ロータリークラブは、インドのロータリー新型コロナ・タスク

フォースと協力し、酸素濃縮器を提供するための寄付を募っています。

◎ロータリー第6900地区は、UPSなどの他団体と協力し、人工呼吸器、麻酔器、酸素、呼吸器具などの医療機器をインドに発送しています。

◎マドラス・ロータリークラブは、200万回分のワクチンを輸送できる8フィートの冷蔵トラック2台を寄贈しました。ケララ州のロータリークラブはこの3週間に、ロータリーセンターや医療キャンプを通じて、約51,000回の無料ワクチン接種を行いました。

◎米国のロータリアンは医療用具を調達し、インドに送っています。イリノイ州ロックフォードのクラブは、民間の航空会社と調整し、ジェット機で機材を送りました。

◎ロータリー青少年交換の学友会が、酸素濃縮器50台を調達するためのクラウドファンディング・キャンペーンを開始しました。

◎ブラジルでは、ロータリー会員が新型コロナワクチンをよりよく配布するためのコールドチェーンを改善する方法を検討しており、冷蔵設備の資金を調達するための支援を必要としています。

私たちはロータリアンとして、奉仕の名の下に結束し、コロナ禍の間、革新的な方法で地域社会を支援してきました。今こそ、インドやその他の危機下にある国が暗闇の先に光を見出し、現在の感染の波を乗り越えることができるよう、皆さまよりご支援をいただけますようお願い申し上げます。

心を込めて

ホルガー・クナーク(国際ロータリー会長)

K.R. ラビンドラン(ロータリー財団管理委員長)

インド第3000地区から支援依頼が来ています

この依頼は長く第2770地区との交流が続いている第3000地区からです。インド・タルミナード州では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い住民が大変な苦境に立たされている報道がなされ、第3000地区のARRFCのGopaiさんから我々第1地域の井原実RPICへ下記の要請がありました。そこで第1地域でDDFの残高が残されている地区に1万ドル或いは5千ドルをご協力していただけないでしょうか。この資金は以下の要領で使用される予定です。

1) 第3000地区タルミナール州に酸素濃縮器を装着する。

- 2) 移動予防接種車を設ける。
- 3) 孤立している患者に対して
SIDDHA MEDICIN Kitを送る。
- 4) 酸素再生プラントを50床程度の病院に設置する。酸素プラントはコロナ後にも使用し続けることが出来るのでメリットが高い。1プラント7万ドル必要。
- 5) これらのご支援にご協力を戴ける地区や会員がおられましたら下記にご連絡をお待ちしています。皆様のご支援を心からお待ち申し上げます。

井原 實 VYF00031@nifty.com
羽部大仁 erinji.habu@gmail.com

コロナ禍での地区運営と財団支援に敬意と目標達成にご尽力をお願いいたします

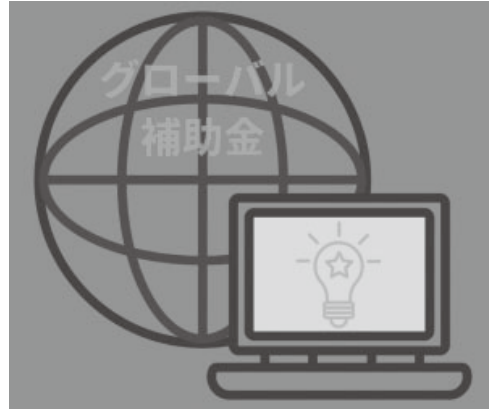
2020-21年度ホルガー・クナーク会長の年次テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」です。しかし、年度が始まってからはコロナ禍での地区運営に苦辛されたに違いありません。クナーク会長は良く「ピンチをチャンスに」と仰っておられました。結果的にバーチャルでの会合が多くなり、それに伴う環境づくりが驚異的に進展したことはコロナの副産物であったかも知れません。

ネット通信による情報の共有は、ウェビナーやEラーニングで研修が容易に学習できるようになりました。これもコロナ禍で必要に迫られて開発されたまさにピンチがチャンスに繋がった良い事案であったように感じています。



(この写真は東京広尾ロータリークラブTACTーstromasters、Canadian International Schoolインターアクトクラブの合同会合)
この写真はロータリーボイスで紹介された記事です。

グローバル補助金



2021年7月1日から補助金モデルに変更が加えられます。

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援します。クラブと地区は、グローバル補助金を通じて地域社会のニーズに対応する活動を行うことで、グローバルなパートナーシップを強化できます。

グローバル補助金プロジェクトの立案に関する詳細は、「グローバル補助金ガイド」をご覧ください。この資料では、補助金の申請、実施、進捗と最終報告について説明されています。

グローバル補助金による活動の種類

グローバル補助金は、次のような活動に使用できます。

- ◎人道的プロジェクト
- ◎奨学金:大学院レベルの留学
- ◎職業研修チーム(VTT):専門職業に関する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

支給額と支給方法

グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金(WF)の最高授与額は400,000ドルです。補助金提唱者は、地区財団活動資金(DDF)、現金、および／または冠名指定寄付と恒久基金の収益を組み合わせることでグローバル補助金に充てることができます。財団は、すべてのDDF寄贈に対して同額(100%)のWFを上乗せします。国際財団活動資金(WF)の授与額に下限はありません。

資格条件

活動が実施される国の地区とクラブおよび援助国側の地区またはクラブは、グローバル補助金を申請する前に、参加資格認定を受けなければなりません。詳しくは参加資格認定のプロセスと補助金管理のコース補をご参照ください。地区財団活動資金(DDF)の利用計画やクラブの参加資格認定方法については、クラブと地区ロータリー財団委員長がサポートを提供します。

申請書の提出にあたってのヒント

しっかりとしたプロジェクト計画とグローバル補助金の申請書を仕上げるために、計画の早い段階から地域の専門家と相談しましょう。地区リソースネットワーク(以下参照)がそのお手伝いをすることができます。

申請書が承認されるには、プロジェクト、奨学金、職業研修チームの活動で、以下の要件が明確に記載されていないと認められません。

- 持続可能であり、補助金の資金が使い尽くされた後も活動成果を長期的に持続させるための計画を含んでいること
- 測定可能な目標を持っていること
- ロータリーの重点分野のいずれかに該当すること
- 地域社会のニーズに応えること
- 人道的プロジェクトまたは職業研修チームを支援するためにグローバル補助金を申請するすべてのクラブと地区は、まず地域社会の調査を実施し、調査で学んだことを基にプロジェクトを立案しなければなりません。
- ロータリアンと地域社会の人々の両方が積極的に参加すること
- 補助金の「授与と受諾の条件」に記載された要件を順守すること

グローバル補助金は、年度を通じて随時申請することができ、申請が受理された順に審査が行われます。詳しくは、グローバル補助金の流れをご覧ください。

留意事項: 提唱クラブまたは提唱地区は、8月、9月、10月のいずれかに留学を開始する奨学生の申請書を、6月30日までにロータリー財団に提出する必要があります。

モニタリングと評価

プロジェクトのモニタリングと評価はグローバル補

助金プロジェクトにおける重要な要素です。適切なモニタリングと報告を行うことによって、ロータリー補助金が地域社会にとって好ましい変化をもたらしたことを確認できます。グローバル補助金のモニタリングと評価について詳しくは、こちらをご覧ください。

また、グローバル補助金の報告はオンラインで提出する必要があります。報告書の準備のため、こちらのテンプレートをダウンロードしてご利用ください。

地区リソースネットワーク

ロータリーの重点分野、グローバル補助金、プロジェクト計画などの分野に詳しい地域のメンバーが最も頼れるリソースとなるでしょう。これには、学友、ローターアクター、ロータリー行動グループメンバー、ロータリー財団専門家グループも含まれます。実施予定のプロジェクトの種類に詳しい専門家グループメンバーからプロジェクトの立案・実施に関する助言を得ることを希望する場合は、cadre@rotary.orgにご連絡ください。

また、地区リソースネットワークの人たちを紹介してもらおうよう、地区国際奉仕委員長にご連絡ください。地区で国際奉仕委員長が任命されていない場合は、地区ガバナーと協力するか、rotary.service@rotary.orgまでご連絡ください。

リソース&参考資料

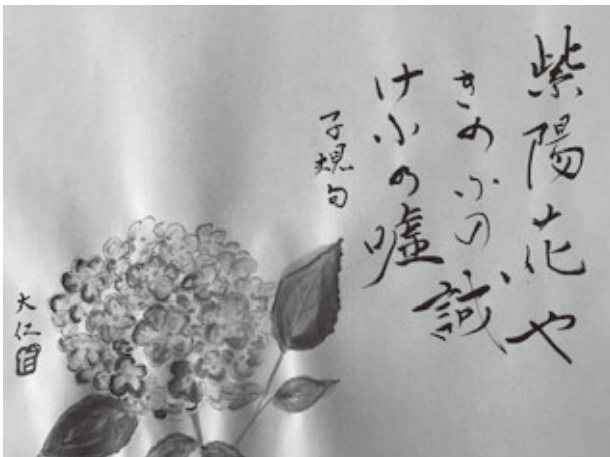
- ・グローバル補助金ガイド(PDF)
- ・地域調査の方法(PDF)
- ・協力団体の覚書(ワード)
- ・グローバル補助金
 - 小口融資プロジェクトに関する補足書式(ワード)
- ・グローバル補助金申請のテンプレート(ワード)
- ・グローバル補助金 計算表(XLS)
- ・グローバル補助金
 - 地域社会調査の結果フォーム(ワード)
- ・グローバル補助金
 - モニタリングと評価の計画(PDF)
- ・グローバル補助金
 - 小口融資プロジェクト報告書の補足書式(ワード)
- ・グローバル補助金 奨学金の補足資料(PDF)
- ・補助金センターのご利用ガイド(PDF)
- ・補助金による旅行に関する情報
- ・グローバル補助金の流れ
- ・持続可能なプロジェクトの立案6つのステップ(PDF)
- ・ロータリー財団
 - 地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件(PDF)

- ・グローバル補助金 研修計画(ワード)
- ・職業研修チームの日程表(ワード)
- ・職業研修チーム:メンバー申請書(ワード)
- ・重点分野のリソース
- ・重点分野の基本方針(PDF)
- ・「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)
- ・「疾病予防と治療」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)
- ・「経済と地域社会の発展」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)
- ・「母子の健康」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)
- ・「平和と紛争予防／紛争解決」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)
- ・「水と衛生」グローバル補助金 授与のガイドライン(PDF)

ツール

- ・補助金の申請プロセスを始める
- ・フォーラムで世界中のロータリアンとつながろう
- ・ロータリ補助金担当職員(PDF)

紫陽花の花と正岡子規の紫陽花の句



『紫陽花や きのふの誠 けふの嘘』

正岡子規は紫陽花の句を多く詠んでいます。中でもこの句は実に人間の心の模様を詠んだ句だと感じます。

正岡子規はこの紫陽花の句を多く詠んでします。このような色のうつりかわりを「七変化」とよび、子規はその変化を「誠」と「嘘」に色分けして呼んでいます。紫陽花の花ことばは「変わりやすい心」

とか「冷淡」といわれています。

これを宗教的に考えて参りますと、実に内面的な部分に存在する自己との葛藤のようなものを子規は、俳句の中に詠んでいると思います。厳しい自己との対面に見たくもない自分自身に気付かされるのではないかと私自身いつも感じている心の模様です。まさに変わりやすい心がここにあると思わずにはおられません。

私は浄土真宗の僧侶です。我が宗祖親鸞聖人は自己に厳しい方で、皆様もご承知のように「煩惱具足の凡夫、火宅無常の世界は、よろずのことみなもって、そらごとたわごと、まことあることなきに、ただ念仏のみぞまことにておわします」親鸞聖人(1173-1262)が常に語っていた言葉として、『歎異抄』に伝えられている言葉です。この文の「そらごと」「たわごと」とは、「空言」「戯言」と書き、うそやいつわりの言葉、中身の無い言葉という意味です。

ですから、「世間には、うそやいつわりの言葉、中身の無い言葉ばかりで、まことの言葉はないのですが、しかしただ一つ、念仏のみがまこと(真実)の言葉なのです」と親鸞聖人は言っていることとなります。我々人間はそれぞれに都合の良い物差しを持ち出し、それであいつには叶わないと劣等感に苛まれ、あんな奴には負ける筈がないと優越感に酔いしれているのです。

仏法は物差しの必要のない世界です。みんなやがて仏様の国に生まれて行く菩薩さまであると 教えられているのです。そのような仏様を拝みあう世界が念仏の世界です。平等で慈愛に溢れた平和な国がお浄土です。

(羽部記)



会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2021.5.31	増減	内女性
1	深 川	1	33	35	2	2
	羽 幌	1	42	38	-4	2
	妹 背 牛	2	7	7	0	0
	留 萌	2	27	26	-1	4
	小 計		109	106	-3	8
2	赤 平	2	20	20	0	2
	芦 別	0	29	27	-2	2
	砂 川	3	39	39	0	1
	滝 川	1	81	83	2	5
	小 計		169	169	0	10
3	美 唄	2	24	24	0	0
	江 別	0	35	37	2	1
	江 別 西	1	36	36	0	4
	岩 見 沢	2	90	92	2	1
	岩見沢東	1	15	17	2	2
	栗 沢	2	18	18	0	1
	栗 山	1	26	26	0	5
	当 別	3	28	28	0	0
小 計		272	278	6	14	
4	札 幌	0	125	121	-4	1
	札幌はまなす	0	16	17	1	2
	札 幌 北	0	43	42	-1	4
	札幌モーニング	3	35	36	1	0
	札 幌 西	0	51	50	-1	10
	札幌西北	0	34	34	0	3
	札幌手稲	4	36	38	2	4
	小 計		340	338	-2	24
5	札 幌 東	0	112	116	4	0
	札幌清田	1	11	11	0	3
	札幌幌南	0	51	57	6	3
	札幌真駒内	0	20	20	0	6
	札 幌 南	0	86	81	-5	2
	札幌大通公園	1	12	12	0	3
	札幌ライラック	0	16	15	-1	4
	新 札 幌	0	25	26	1	5
	小 計		333	338	5	26
6	岩 内	2	23	23	0	1
	倶 知 安	2	33	33	0	3
	小 樽	0	71	72	1	4
	小 樽 南	0	64	64	0	3
	小樽銭函	2	19	18	-1	1
	蘭 越	2	8	8	0	0
	余 市	1	40	40	0	4
	小 計		258	258	0	16

5月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,507人(175人)
増加会員数	14人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			2020.7.1	2021.5.31	増減	内女性
7	千 歳	0	74	75	1	10
	千歳セントラル	2	43	43	0	9
	恵 庭	2	49	46	-3	3
	北 広 島	1	15	15	0	0
	長 沼	1	17	16	-1	3
	由 仁	2	8	8	0	1
小 計		206	203	-3	26	
8	え り も	0	19	19	0	1
	三 石	0	11	11	0	0
	様 似	3	14	15	1	1
	静 内	3	67	67	0	4
	浦 河	2	27	28	1	3
	小 計		138	140	2	9
	9	伊 達	1	62	61	-1
室 蘭		1	30	32	2	2
室 蘭 東		2	32	32	0	2
室 蘭 北		1	48	53	5	1
登 別		1	29	29	0	1
洞 爺 湖		0	12	12	0	1
小 計			213	219	6	9
10	函 館	1	68	70	2	3
	函館亀田	2	36	35	-1	4
	森	0	33	32	-1	0
	七 飯	3	14	15	1	0
	長 万 部	0	10	10	0	0
	函館セントラル	3	23	22	-1	2
小 計		184	184	0	9	
11	江 差	2	10	9	-1	1
	函館五稜郭	2	53	49	-4	0
	函 館 東	1	35	36	1	8
	函 館 北	3	18	17	-1	1
	北 斗	3	12	12	0	0
	小 計		128	123	-5	10
12	白 老	0	31	31	0	3
	苫 小 牧	2	55	62	7	2
	苫小牧東	2	28	30	2	6
	苫小牧北	3	29	28	-1	3
	小 計		143	151	8	14
合 計		2,493	2,506	13	175	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				年間出席率
			2020.7.1	2021.6.30	増減	内女性	
1	深川	0	33	35	2	2	86.03
	羽幌	1	42	36	-6	1	71.40
	妹背牛	3	7	7	0	0	88.17
	留萌	2	27	26	-1	4	76.25
	小計		109	104	-5	7	80.46
2	赤平	1	20	20	0	2	82.00
	芦別	0	29	27	-2	2	69.41
	砂川	3	39	39	0	1	86.57
	滝川	1	81	84	3	5	66.00
	小計		169	170	1	10	76.00
3	美唄	4	24	20	-4	0	85.60
	江別	1	35	36	1	1	93.79
	江別西	2	36	36	0	4	80.70
	岩見沢	1	90	91	1	1	97.40
	岩見沢東	3	15	17	2	2	78.65
	栗沢	2	18	18	0	1	93.46
	栗山	2	26	26	0	5	83.91
	当別	4	28	26	-2	0	91.68
	小計		272	269	-3	14	88.15
	4	札幌	2	125	121	-4	1
札幌はまなす		4	16	17	1	2	82.40
札幌北		1	43	38	-5	4	100.00
札幌モーニング		4	35	36	1	0	100.00
札幌西		2	51	48	-3	11	69.47
札幌西北		1	34	31	-3	3	96.72
札幌手稲		4	36	34	-2	3	100.00
小計			340	325	-15	24	92.24
5	札幌東	1	112	113	1	0	100.00
	札幌清田	3	11	11	0	3	100.00
	札幌幌南	3	51	59	8	4	100.00
	札幌真駒内	2	20	20	0	6	100.00
	札幌南	2	86	76	-10	2	100.00
	札幌大通公園	1	12	12	0	3	55.00
	札幌ライラック	1	16	15	-1	4	100.00
	新札幌	2	25	26	1	5	100.00
	小計		333	332	-1	27	94.38
6	岩内	1	23	22	-1	1	85.10
	倶知安	2	33	33	0	3	70.00
	小樽	5	71	72	1	3	88.16
	小樽南	1	64	64	0	3	100.00
	小樽銭函	3	19	18	-1	1	65.00
	蘭越	3	8	8	0	0	87.90
	余市	2	40	35	-5	3	86.00
	小計		258	250	-8	14	83.17

6月会員増減数

クラブ数	70クラブ
期首会員数	2,493人
当月末会員数(女性)	2,434人(171人)
増加会員数	-59人
当月平均出席率	80.88%

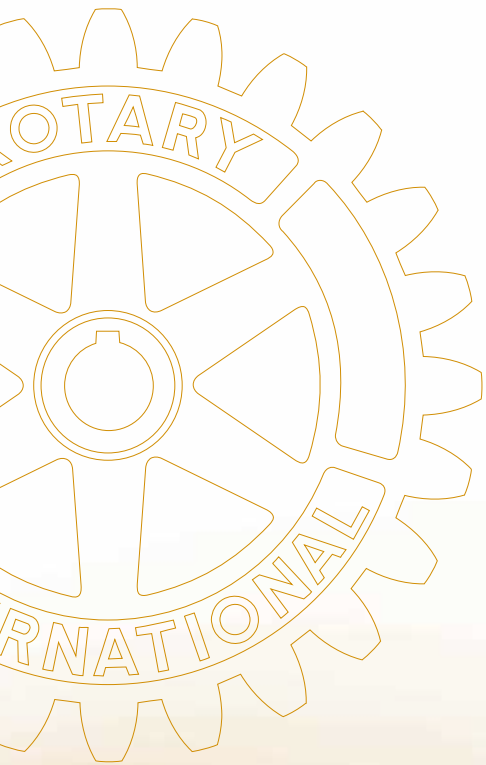
グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				年間出席率
			2020.7.1	2021.6.30	増減	内女性	
7	千歳	1	74	74	0	10	78.50
	千歳セントラル	1	43	42	-1	9	62.79
	恵庭	2	49	45	-4	3	78.23
	北広島	3	15	15	0	0	71.71
	長沼	1	17	16	-1	3	90.00
	由仁	2	8	8	0	1	70.00
	小計		206	200	-6	26	75.21
8	えりも	1	19	17	-2	1	94.03
	三石	2	11	11	0	0	72.00
	様似	2	14	15	1	1	73.99
	静内	1	67	64	-3	4	85.36
	浦河	2	27	20	-7	2	44.71
	小計		138	129	-9	8	74.02
	9	伊達	1	62	60	-2	2
室蘭		1	30	31	1	2	66.40
室蘭東		2	32	31	-1	2	79.80
室蘭北		4	48	52	4	1	78.02
登別		1	29	28	-1	1	71.43
洞爺湖		1	12	12	0	1	83.00
小計			213	214	1	9	76.27
10	函館	2	68	57	-11	1	78.99
	函館亀田	4	36	33	-3	4	67.26
	森	2	33	32	-1	0	63.50
	七飯	2	14	15	1	0	67.40
	長万部	0	10	10	0	0	65.50
	函館セントラル	4	23	23	0	2	61.96
	小計		184	170	-14	7	67.44
11	江差	2	10	9	-1	1	70.00
	函館五稜郭	4	53	47	-6	0	74.51
	函館東	1	35	36	1	8	75.33
	函館北	3	18	17	-1	1	70.87
	北斗	4	12	12	0	0	55.30
	小計		128	121	-7	10	69.20
12	白老	2	31	30	-1	3	80.00
	苫小牧	1	55	59	4	2	85.20
	苫小牧東	2	28	32	4	7	82.60
	苫小牧北	3	29	28	-1	3	70.45
	小計		143	149	6	15	79.56
合計		2,493	2,434	-59	171	80.88	

※岩見沢RCには岩見沢ネクスロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む



表紙写真

福井ガバナーと札幌手稲RC会員を中心とした2020-21年度ガバナー事務所スタッフ。



Rotary



District 2510

